

**【表紙】**

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年3月16日
【発行者名】	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼CEO 佐藤 秀樹
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー14階
【事務連絡者氏名】	森下 泰幸
【電話番号】	(03) 6447 - 3086
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	先進国株式インデックス・ファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 第一部【証券情報】

### (1)【ファンドの名称】

先進国株式インデックス・ファンド

以下「当ファンド」または「ファンド」という場合があります。

### (2)【内国投資信託受益証券の形態等】

- ・ファンドの受益権は、追加型証券投資信託受益権（契約型）（以下「受益権」といいます。）で、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受けます。
- ・受益権の帰属は、後記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。  
社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。
- ・振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。
- ・委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、振替受益権を表示する受益証券を発行しません。
- ・委託会社の依頼により、信用格付業者から提供または閲覧に供された信用格付はありません。また、信用格付業者から提供または閲覧に供される予定の信用格付もありません。

### (3)【発行（売出）価額の総額】

1兆円を上限とします。

\*受益権1口当たりの各発行価格に、各発行口数を乗じて得た金額の合計額です。

### (4)【発行（売出）価格】

購入の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

ただし、「自動けいぞく投資コース」において、分配金を再投資する場合の発行価格は、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、委託会社の営業日に日々算出されます。ファンドの基準価額は、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に「先進国イ」の銘柄名で掲載されます。また、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

### (5)【申込手数料】

- ・購入時手数料<sup>1</sup>は、購入口数、購入金額<sup>2</sup>または購入代金<sup>3</sup>などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める2.16%（税抜き2.00%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。  
詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
  - 1 購入時手数料には、購入時手数料にかかる消費税および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）がかかります。
  - 2 「購入金額」とは、「購入の申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数」により計算される金額をいいます。
  - 3 「購入代金」とは、「購入金額+購入時手数料（税込み）」により計算される金額をいいます。
- ・「自動けいぞく投資コース」において分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

## (6)【申込単位】

購入単位は、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。

\*「自動けいぞく投資コース」において分配金を再投資する場合は、1口単位とします。

## (7)【申込期間】

継続申込期間：平成27年3月17日から平成28年3月16日まで

\*継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

## (8)【申込取扱場所】

販売会社において、お申し込みを取り扱います。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

## (9)【払込期日】

購入申し込みを行う投資者は、販売会社の定める日までに、購入代金をお申し込みの販売会社にお支払いください。

継続申込期間における各購入申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、販売会社によって、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

## (10)【払込取扱場所】

販売会社において、払い込みを取り扱います。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

## (11)【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権にかかる振替機関は、株式会社証券保管振替機構です。

\*ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、振替機関の振替業にかかる業務規程などの規則に従って取り扱われます。

\*ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および振替機関の業務規程その他の規則に従って支払われます。

## (12)【その他】

- ・申込証拠金はありません。
- ・購入代金には利息を付しません。
- ・日本以外の地域における発行はありません。
- ・クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ・ニューヨーク証券取引所の休業日または英国のイースター、クリスマスおよびボクシング・デーにあたる英国証券取引所の休業日のいずれかに該当する日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。
- ・ファンドに関する照会先は以下のとおりです。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

###### ファンドの目的

ファンドの目的	日本を含む世界各国の株式（預託証書およびカントリーファンドを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 「実質的な主要投資対象」とは、ファンドがマザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象をいいます。
---------	---

###### 信託金の限度額

信託金の限度額	委託会社は、受託会社と合意のうえ、金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。 委託会社は、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。
---------	--

###### ファンドの基本的性格

###### a. ファンドの商品分類

	商品分類項目	商品分類の定義
単位型・追加型の別	単位型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンド
	追加型投信	
投資対象地域	国内	目論見書または信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内および海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	海外	
	内外	
投資対象資産	株式	目論見書または信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるもの
	債券	
	不動産投信 資産複合	
補足分類	インデックス型	目論見書または信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるもの
	特殊型	

\* ファンドの商品分類を網掛け表示しております。該当する定義は上記のとおりですが、その他の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

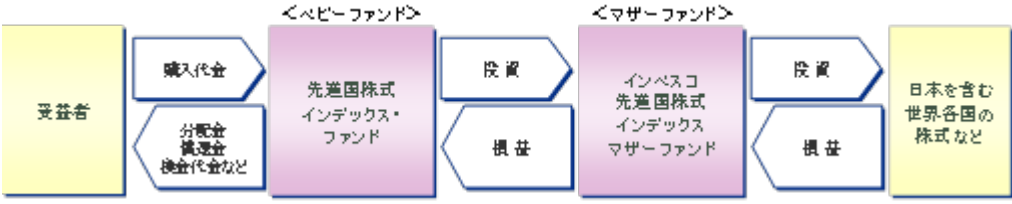
## b. ファンドの属性区分

属性区分項目		属性区分の定義
投資対象 資産	株式	
	(一般)	(大型株)
	(中小型株)	
	債券	
	(一般)	(公債)
	(社債)	(その他債券)
	(クレジット属性)	
	不動産投信	
その他資産（投資信託証券）		
資産複合		
	(資産配分固定型)	(資産配分変更型)
決算頻度	年1回	年2回
	年4回	年6回（隔月）
	年12回（毎月）	日々
	その他	
投資対象 地域	グローバル	日本
	北米	欧州
	アジア	オセアニア
	中南米	アフリカ
	中近東（中東）	エマージング
投資形態	ファミリーファンド	
	ファンド・オブ・ファンズ	
為替 ヘッジ	為替ヘッジあり	
	為替ヘッジなし	
対象イン デックス	日経225	
	TOPIX	
	その他（MSCIワールド・インデックス）	

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

\* ファンドの属性区分を網掛け表示しております。該当する定義は上記のとおりですが、その他の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

## ファンドの特色

1.	<p>主として、マザーファンド<sup>1</sup> 受益証券への投資を通じて、日本を含む世界の先進国の株式に投資を行います。</p> <p>1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド」です。</p>
2.	<p>M S C Iワールド・インデックス（円換算ベース）<sup>2</sup>の動きに連動する投資成果<sup>3</sup>を目指すインデックス・ファンドです。</p> <p>実質外貨建資産については、為替ヘッジは原則行いません。</p> <p>為替に重大な影響を与えると判断される政治・経済情勢、金利動向等によっては、為替ヘッジを行うことがあります。</p> <p>2 ファンドは、M S C Iワールド・インデックス（円換算ベース）をベンチマークとします。</p> <p>M S C Iワールド・インデックス（円換算ベース）とは、M S C Iインクが算出する基準日前営業日のM S C Iワールド・インデックス（米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。</p> <p>M S C Iワールド・インデックス（米ドルベース）は、M S C Iインクが算出する株式インデックス（指数）の一つです。M S C Iインデックスは、M S C Iインクの知的財産であり、M S C IはM S C Iインクのサービスマークです。</p> <p>この情報はM S C Iインクの営業秘密であり、またその著作権はM S C Iインクに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。</p> <p>また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をM S C Iインクは何ら保証するものではありません。</p> <p>M S C Iワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。</p> <p>3 ファンドは、ベンチマークと連動することを目指して運用を行いますが、基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。</p>
3.	<p>原則として3カ月に1度、分配を行います。</p> <p>委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。</p> <p>原則として3月、6月、9月、12月の各18日（決算日が休業日の場合は翌営業日）の決算時に、委託会社が分配方針に基づいて分配を行います。</p>
4.	<p>ファミリーファンド方式<sup>4</sup>で運用を行います。</p> <p>4 ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンド受益証券に投資して実質的な運用を行う仕組みです。</p> <p>なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。</p> 

## ファンドの運用プロセス

## ファンドの運用プロセス

ファンドの運用は、インデックスに連動する投資成果を目指し以下の3段階のプロセスで行います。



## 各運用プロセスの詳細

<b>第1段階</b> 最適化されたポートフォリオを構築する過程	インベスコ・グループが独自に開発したリスク管理・ポートフォリオ構築システムを用いて、ファンドの運用金額およびインデックス構成銘柄の流動性等も勘案して、ポートフォリオの収益率がベンチマークに連動するよう組入銘柄および組入比率を決定します。地域別、国別および業種別配分は、インデックスの各構成比率に基づきます。
<b>第2段階</b> 構築したポートフォリオを管理する過程	MSCIより、指数構成銘柄変更に関するデータ、および組入銘柄に関する買収、合併、選択権付配当等のコーポレート・アクションに関するデータを毎日取得し、推定トラッキング・エラーを監視します。また、情報ベンダーから財務データ等を取得し、全保有銘柄を対象にデフォルト確率を分析します。 運用リスク管理部は、ファンドの運用リスク分析・パフォーマンス分析を行い、運用リスク管理委員会(IRMC)に報告します。
<b>第3段階</b> リバランスを実施する過程	原則として、MSCIが行う定期的な指数構成銘柄の変更時にリバランスの実行を検討するほか、以下の場合等にも随時、機動的にリバランス取引を検討します。 週次および月次で推定トラッキング・エラーのモニタリングを行った結果、社内管理目標を上回った場合 コーポレート・アクション、浮動株式調整等により指数構成銘柄、組入比率等が変更となった場合

ファンドの運用プロセス等は、平成27年1月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。

\*当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、償還の準備に入ったときなどが含まれます。

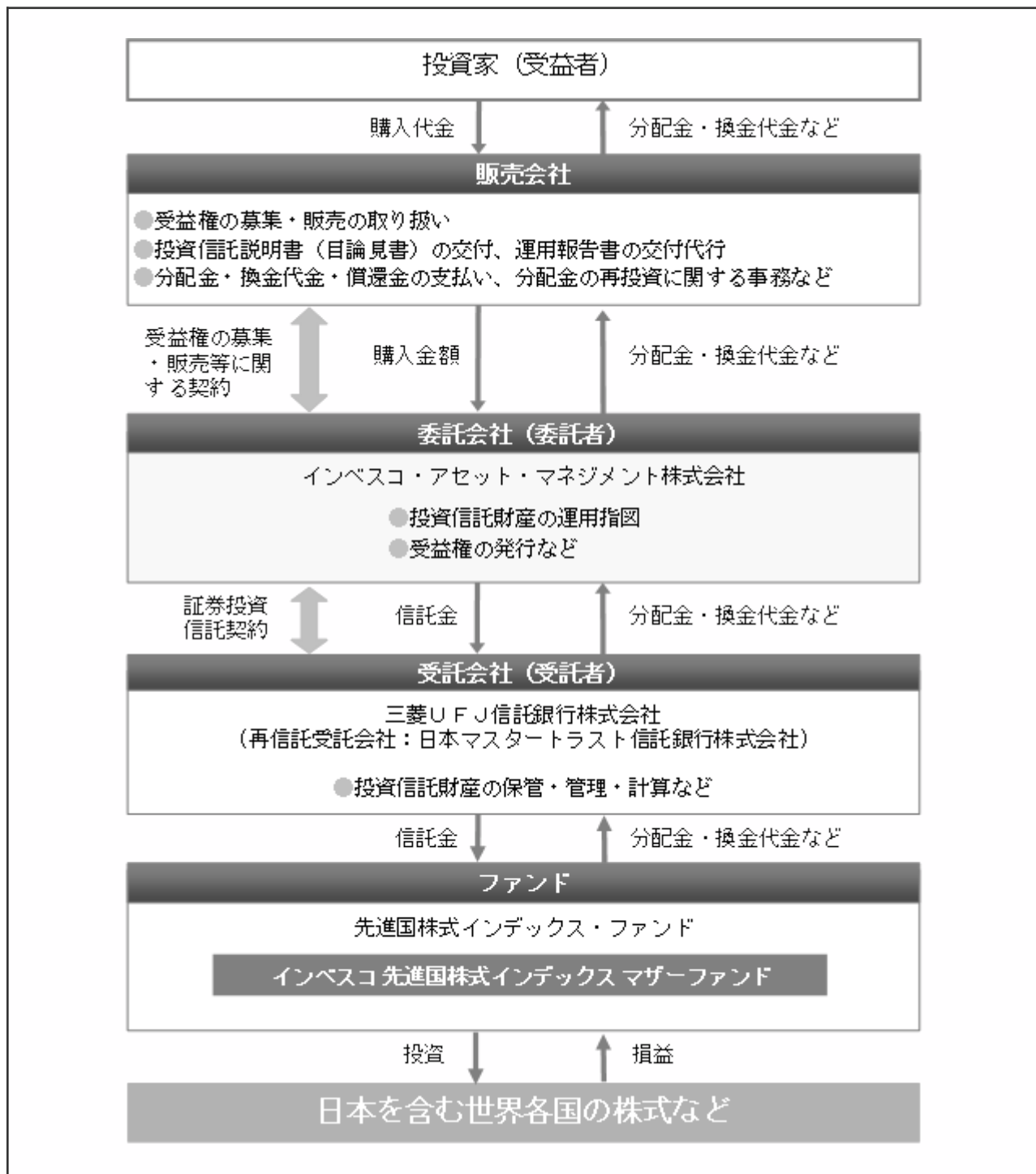
## (2) 【ファンドの沿革】

平成20年4月23日	信託契約締結、ファンド設定、運用開始
平成22年7月5日	委託会社をモルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投資株式会社からインベスコ投資顧問株式会社（現インベスコ・アセット・マネジメント株式会社）に変更

## (3) 【ファンドの仕組み】

ファンドの運営の仕組み

a. ファンドの関係法人の概要





## b．委託会社およびファンドの関係法人の役割

委託会社 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	投資信託財産の運用指図、信託約款の届け出、受託会社との信託契約の締結・解約の実行、受益権の発行、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）・運用報告書の作成、投資信託財産の計算（受益権の基準価額の計算）および投資信託財産に関する帳簿書類の作成などを行います。
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 <再信託受託会社> 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	委託会社との信託契約の締結、投資信託財産の保管・管理・計算などを行います。 なお、日本マスタートラスト信託銀行株式会社に信託事務の一部を委託することがあります。
販売会社	受益権の募集・販売の取り扱いを行い、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。

## c．委託会社がファンドの関係法人と締結している契約等の概要

受託会社と締結している契約： 証券投資信託契約	信託約款に基づき締結され、運用方針、投資制限、委託会社・受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬の総額、信託期間などファンドの運営に関する事項が規定されています。
販売会社と締結している契約： 受益権の募集・販売等に関する契約	受益権の募集・販売の取り扱い、分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務、その他これらに付随する事務および手続きなどの内容が規定されています。

## 委託会社等の概況

名称（商号等）	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号）			
資本金	4,000百万円（平成27年1月30日現在）			
沿革	<p>昭和61(1986)年：エムアイエム・トウキョウ株式会社（後のインベスコ投資顧問株式会社）設立</p> <p>平成2(1990)年：エムアイエム投信株式会社（後のインベスコ投信株式会社）設立</p> <p>平成8(1996)年：インベスコ投資顧問株式会社とインベスコ投信株式会社が合併し、インベスコ投信投資顧問株式会社に社名変更</p> <p>平成10(1998)年：エル・ジー・ティー投信・投資顧問株式会社と合併</p> <p>平成26(2014)年：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に社名変更</p>			
大株主の状況	（平成27年1月30日現在）			
	名称	住所	所有株式数	所有比率
	インベスコ・ファー・イースト・リミテッド	Perpetual Park, Perpetual Park Drive, Henley-on-Thames, Oxfordshire, RG9 1HH, United Kingdom	40,000株	100%

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

基本方針	この投資信託は、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式（預託証券およびカントリーファンドを含みます。）に投資を行います。</li><li>・MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</li><li>・実質外貨建資産については、為替ヘッジは原則として行いません。</li><li>・株式の実質組入比率は原則として高位を保ちます。</li><li>・市況動向、資金動向、投資環境の変化等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li></ul>

### (2)【投資対象】

<p>投資対象とする資産の種類（特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるもの））</p>	<p>a . 有価証券</p> <p>b . デリバティブ取引（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいいます。）にかかる権利のうち、次に掲げる権利</p> <p>（ ）有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）にかかる権利</p> <p>（ ）有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）にかかる権利</p> <p>（ ）有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）にかかる権利</p> <p>（ ）外国金融商品市場において行う取引であって、（ ）から（ ）までに掲げる取引と類似の取引にかかる権利</p> <p>（ ）有価証券先渡取引（金融商品取引法第28条第8項第4号イに掲げるものをいいます。）にかかる権利</p> <p>（ ）有価証券店頭指数等先渡取引（金融商品取引法第28条第8項第4号ロに掲げるものをいいます。）にかかる権利</p> <p>（ ）有価証券店頭オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第4号ハ及びニに掲げるものをいいます。）にかかる権利</p> <p>（ ）有価証券店頭指数等スワップ取引（金融商品取引法第28条第8項第4号ホに掲げるものをいいます。）にかかる権利</p> <p>（ ）金融先物取引（証券取引法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第66号）第1条第4号の規定による廃止前の金融先物取引法（昭和63年法律第77号）第2条第1項に規定するものをいいます。）にかかる権利</p> <p>（ ）金融デリバティブ取引（投資信託及び投資法人に関する法律施行規則等の一部を改正する内閣府令（平成19年内閣府令第61号）第1条の規定による改正前の投資信託及び投資法人に関する法律施行規則（平成12年総理府令第129号）第4条各号に規定するものをいい、金融先物取引を除きます。）にかかる権利（（ ）から（ ）までに掲げるものに該当するものを除きます。）</p> <p>c . 金銭債権</p> <p>d . 約束手形</p>
<p>投資対象とする資産の種類（特定資産以外の資産）</p>	<p>a . 為替手形</p>

<p>投資対象とする有価証券</p>	<p>委託会社は、信託金を、主としてマザーファンド受益証券のほか以下の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 株券または新株引受権証書</li> <li>b. 国債証券</li> <li>c. 地方債証券</li> <li>d. 特別の法律により法人の発行する債券</li> <li>e. 社債券（新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）</li> <li>f. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）</li> <li>g. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）</li> <li>h. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券または優先出資引受権を表示する証書（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）</li> <li>i. 特定目的会社にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）</li> <li>j. コマーシャル・ペーパー</li> <li>k. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券</li> <li>l. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、上記 a. から k. までの証券または証書の性質を有するもの</li> <li>m. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）</li> <li>n. 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）</li> <li>o. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）</li> <li>p. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限りません。）</li> <li>q. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）</li> <li>r. 外国法人が発行する譲渡性預金証書</li> <li>s. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限りません。）</li> <li>t. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）</li> <li>u. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの</li> <li>v. 外国の者に対する権利で前 u. の有価証券の性質を有するもの</li> </ul>
--------------------	--

投資対象とする金融商品	<p>委託会社は、信託金を、以下の金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。</p> <p>a. 預金</p> <p>b. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）</p> <p>c. コール・ローン</p> <p>d. 手形割引市場において売買される手形</p> <p>e. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの</p> <p>f. 外国の者に対する権利で前e.の権利の性質を有するもの</p> <p>*前記「投資対象とする有価証券」にかかわらず、ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を上記の金融商品により運用することができます。</p>
-------------	---

## (3) 【運用体制】

<p>ファンドの運用体制の概要</p>	
運用に関する組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドおよびマザーファンドは、運用本部のクオンツ運用部によって運用されます。当該運用部は、運用に関する調査・分析、投資判断などを行い、ポートフォリオを構築します。</li> <li>・トレーディング部は、運用本部から売買の指図を受け、発注を行います。</li> </ul>

内部管理および意思決定を監督する組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス部(5名程度)は、ファンドのガイドラインの遵守状況のモニタリングを行い、その結果をリスク管理委員会に報告します。また、必要に応じて運用本部へ是正を指示し、是正状況を確認します。</li> <li>・運用リスク管理部(3名程度)は、ファンドの運用リスク分析およびパフォーマンス分析を行い、その結果を運用本部にフィードバックするとともに、運用リスク管理委員会に報告します。</li> <li>・運用リスク管理委員会(5名程度)は、運用リスク管理部からの報告を基に、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をリスク管理委員会へ報告します。</li> </ul> <p>*「3 投資リスク (2)投資リスクに対する管理体制」もご覧下さい。</p>
運用に関する社内規定	<p>ファンドの運用に関する社内規定として「運用業務規程」、リスク管理に関する社内規定として「リスク管理規程」があります。</p>
ファンドの関係法人に対する管理体制	<p>受託会社などの管理・統制については、外部監査法人による「内部統制監査報告書」を入手し、検証・モニタリングなどを行っております。</p>

上記運用体制における組織名称等は、平成27年1月30日現在のものであり、委託会社の組織変更などにより変更となる場合があります。

## (4) 【分配方針】

ファンドの決算日	年4回の3・6・9・12月の各18日（同日が休業日の場合は翌営業日）。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配対象額は、繰り越し分を含めた経費控除後の利息・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の範囲内とします。</li> <li>・ 分配金額は、委託会社が、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮して決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。</li> <li>・ 収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。</li> </ul>
分配金の支払い	<p>a. 「自動けいぞく投資コース」 分配金は、税引き後無手数料で再投資されます。</p> <p>b. 「一般コース」 分配金は、原則として決算日から起算して5営業日目までに販売会社でお支払いを開始します。</p> <p>* 分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該分配金にかかる決算日以前において、一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で、取得申込代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として取得申込者とします。）に支払います。</p> <p>* 「自動けいぞく投資コース」の分配金の再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。</p>

上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## (5) 【投資制限】

## 信託約款上の投資制限

マザーファンド受益証券への投資制限（運用の基本方針）	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。
株式への投資制限（運用の基本方針）	<p>株式への実質投資割合<sup>1</sup>には、制限を設けません。</p> <p><sup>1</sup> 実質投資割合とは、ファンドに属する資産の時価総額と、マザーファンドに属する資産のうちファンドに属するとみなした額（ファンドに属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額のファンドの純資産総額に対する割合をいいます。以下同じです。</p>
外貨建資産への投資制限（運用の基本方針）	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
新株引受権証券などへの投資制限（運用の基本方針）	新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。
同一銘柄の株式への投資制限（運用の基本方針）	同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。
同一銘柄の新株引受権証券などへの投資制限（運用の基本方針）	同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。



同一銘柄の転換社債などへの投資制限（運用の基本方針）	<p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債<sup>2</sup>への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>2 新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの、ならびに会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがあるものをいいます。以下同じです。</p>
投資信託証券への投資制限（運用の基本方針）	<p>投資信託証券<sup>3</sup>への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>3 マザーファンド受益証券および取引所金融商品市場（外国市場を含みます。）に上場等され、かつ通常当該取引所において売却可能な投資信託証券など、一定の条件を満たすものを除きます。</p>
デリバティブ取引の利用（運用の基本方針）	<p>デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。</p>
デリバティブ取引等にかかる投資制限（第17条第7項）	<p>デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。</p>
信用取引の指図（第22条）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。</li> <li>・ 当該売り付けの決済は、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができます。</li> </ul>

<p>先物取引等の運用指図（第23条）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、および運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため（連動した投資成果をめざす株価指数との乖離を最小限に抑える目的を含みます。）、以下の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じです。）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- わが国の金融商品取引所<sup>4</sup>における有価証券先物取引</li> <li>- わが国の金融商品取引所における有価証券指数等先物取引</li> <li>- わが国の金融商品取引所における有価証券オプション取引</li> <li>- 外国の金融商品取引所における上記の取引と類似の取引</li> <li>- 金融商品市場または外国金融商品市場によらないで行う有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引（これらの取引と類似の取引を含みます。）</li> </ul> </li> <li>・投資信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引および先物オプション取引、ならびに金融商品市場または外国金融商品市場によらないで行う通貨にかかる先物取引およびオプション取引（これらの取引と類似の取引を含みます。）を行うことの指図をすることができます。</li> <li>・投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、および価格変動リスクを回避するため（連動した投資成果をめざす株価指数との乖離を最小限に抑える目的を含みます。）、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引、ならびに金融商品市場または外国金融商品市場によらないで行う金利にかかる先物取引およびオプション取引（これらの取引と類似の取引を含みます。）を行うことの指図をすることができます。</li> </ul> <p>4 金融商品取引所とは、金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じです。なお、金融商品取引所を単に「取引所」という場合があり、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場および当該市場を開設する者を「証券取引所」という場合があります。</p>
<p>スワップ取引の運用指図（第24条）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。</li> <li>・スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で行います。</li> <li>・スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行います。</li> </ul>

金利先渡取引および為替先渡取引の運用指図(第25条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。</li> <li>・金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で行います。</li> <li>・金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行います。</li> </ul>
有価証券の貸し付けの指図(第27条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式および公社債を貸し付けることの指図をすることができます。</li> <li>・有価証券の貸し付けにあたって必要と認めるときは、担保の受け入れの指図を行います。</li> </ul>
特別の場合の外貨建有価証券への投資制限(第28条)	わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、外貨建有価証券への投資が制約されることがあります。
外国為替予約取引の指図(第29条)	投資信託財産に属する実質外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
資金の借り入れ(第36条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託財産の効率的な運用および運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借り入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。</li> <li>・当該借入金をもって有価証券等の運用は行いません。</li> <li>・借入金の利息は投資信託財産中から支弁します。</li> </ul>

上記の投資制限の詳細は、信託約款をご覧ください。

#### 法令に基づく投資制限

デリバティブ取引にかかる投資制限(金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号)	委託会社は、信託財産に関して、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引(新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。)を行い、または継続することを受託会社に指図しません。
同一の法人の発行する株式の投資制限(投資信託及び投資法人に関する法律第9条)	委託会社は、同一の法人の発行する株式について、委託会社が運用指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき投資信託財産として保有する当該株式にかかる議決権の総数が、当該株式にかかる議決権総数の100分の50を超えることとなる場合、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しません。

## （参考）インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンドの投資方針

基本方針	M S C Iワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
投資対象	日本を含む世界各国の株式（預託証券およびカンントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として日本を含む世界各国の株式（預託証券およびカンントリーファンドを含みます。）に投資を行います。</li> <li>・M S C Iワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</li> <li>・外貨建資産については、為替ヘッジは原則として行いません。</li> <li>・株式の組入れ比率は原則として高位を保ちます。</li> <li>・市況動向、資金動向、投資環境の変化等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。</li> <li>・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。</li> </ul>

### 3【投資リスク】

投資信託はリスクを含む商品であり、ファンドは、国内外の株式など値動きのある有価証券に投資しますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行者の倒産、財務状況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建ての資産は、為替変動による影響も受けます。したがって、ご投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

委託会社の指図に基づく行為により投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託は、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。

ご投資家の皆さまにおかれましては、ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申し込みください。

#### (1)基準価額の変動要因等

##### 基準価額の主な変動要因

株価の変動リスク (価格変動リスク・ 信用リスク)	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給などを反映して変動し、下落することがあります。また、発行企業が経営不安、倒産などに陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。これらの影響により、基準価額が下落することがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、基準価額が下落したり、新たな投資や投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他の要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落することがあります。

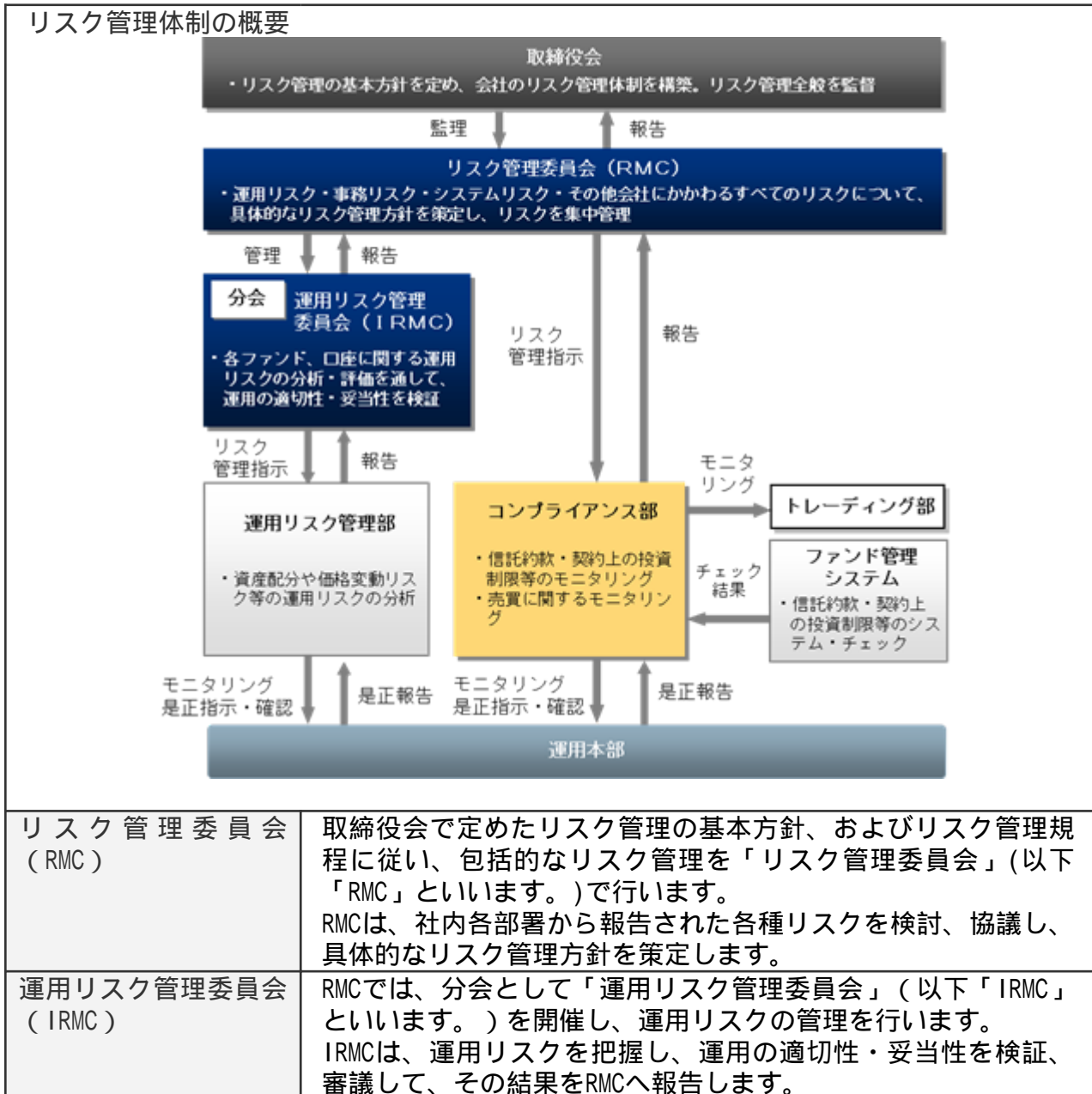
## 基準価額のその他の変動要因等

分配金に関する留意点	分配金の支払いは、計算期間中に発生した経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）を超過して行われる場合があります。したがって、分配金の水準のみからファンドの収益率を求めることはできません。また、分配金はファンドの純資産総額から支払われるため、分配金支払い後の純資産総額は減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者の個別元本によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。
換金資金手当によるリスク	短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合、市場の規模や動向によっては、市場実勢を押し下げ、当初期待された価格で有価証券を売却できないことがあります。
コール・ローン等の相手先に関する信用リスク	コール・ローン等の短期金融商品で運用する場合、相手先の債務不履行により損失が発生することがあります。この影響により、基準価額が下落することがあります。
ファミリーファンド方式にかかるリスク	マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
ベンチマークとの乖離に関する留意事項	ファンドはベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、ファンドの投資成果がベンチマークに完全に一致することを保証するものではありません。ファンドの投資成果とベンチマークの騰落率とが乖離する主な要因には、ファンドがマザーファンドを通じて株式を売買する際の取引費用の負担や信託報酬の負担などがあります（これら以外の理由により乖離が生じる場合もあります。）。

## (2)投資リスクに対する管理体制

## リスク管理体制の概要

## リスク管理体制の概要



## 関係部署の役割

運用リスク管理部	資産配分や価格変動リスクなどの運用リスク分析およびパフォーマンス分析を行い、その結果をIRMCに報告します。
コンプライアンス部	ファンドの信託約款や法令等で規定されているガイドラインの遵守状況、最良執行など売買取引をモニタリングし、その結果をRMCに報告します。 また、必要に応じて運用本部へ是正を指示し、是正状況を確認します。

上記リスク管理体制における組織名称などは、委託会社の組織変更などにより変更となる場合があります。この場合においても、ファンドの基本的なリスク管理体制が変更されるものではありません。



## &lt;参考情報&gt;


**ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移**


**ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較**


\* 上記、各グラフのファンドに関するデータは、課税前の分配金を再投資したものとみなして計算した分配金再投資基準価額を用いています。実際の基準価額および基準価額に基づいて計算した騰落率とは異なる場合があります。

\* 「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、ファンドと他の代表的な資産クラスの値動きを定量的に比較できるように作成したものです。すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示しています。

\* 代表的な資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数は以下の通りです。海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースのものを使用しています。

日本株	<b>TOPIX (東証株価指数) (配当込み)</b> TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	<b>MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)</b> MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	<b>MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)</b> MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)に、当日の米ドル為替レート(WM/ロイター値)を乗じて算出しています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI国債</b> NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	<b>シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
新興国債	<b>JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)</b> JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)に、当日の米ドル為替レート(WM/ロイター値)を乗じて算出しています。 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】＜投資者が直接的に負担する費用＞

購入時手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入時手数料<sup>1</sup>は、購入口数、購入金額<sup>2</sup>または購入代金<sup>3</sup>などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める2.16%（税抜き2.00%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。</li> <li>・ 購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、販売会社にお支払いいただきます。</li> </ul> <p>詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。</p> <p>1 購入時手数料には、購入時手数料にかかる消費税および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）がかかります。</p> <p>2 「購入金額」とは、「購入の申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数」により計算される金額をいいます。</p> <p>3 「購入代金」とは、「購入金額+購入時手数料(税込み)」により計算される金額をいいます。</p>
分配金の再投資にかかる手数料	「自動けいぞく投資コース」において分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

## (2)【換金(解約)手数料】＜投資者が直接的に負担する費用＞

換金(解約)手数料	ファンドの換金(解約)にあたり、手数料はありません。
信託財産留保額	ありません。

\* 「信託財産留保額」とは、換金(解約)する受益者と償還時まで投資を続ける受益者との間の公平性を確保するため、信託期間満了前に換金(解約)する受益者から徴収する一定の金額をいいます。差し引かれた信託財産留保額は、信託財産に留保されます。

## (3)【信託報酬等】＜投資者が信託財産で間接的に負担する費用＞

信託報酬の額	投資信託財産の純資産総額に年率0.864%（税抜き0.80%）を乗じて得た額とします。																						
信託報酬の配分	<p>信託報酬の配分は、以下の通り（税抜き）とします。</p> <table border="1" data-bbox="489 1541 1394 1630"> <thead> <tr> <th>配分（年率）</th> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>0.36%</td> <td>0.36%</td> <td>0.08%</td> <td>0.80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>信託報酬の配分先および役務の内容は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="489 1738 1394 2011"> <thead> <tr> <th>配分先</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等</td> </tr> </tbody> </table>					配分（年率）	委託会社	販売会社	受託会社	合計		0.36%	0.36%	0.08%	0.80%	配分先	役務の内容	委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
配分（年率）	委託会社	販売会社	受託会社	合計																			
	0.36%	0.36%	0.08%	0.80%																			
配分先	役務の内容																						
委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等																						
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等																						
受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等																						
支払方法	毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁するものとします。																						

## (4) 【その他の手数料等】 &lt; 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 &gt;

## 信託事務の諸費用

該当する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組入有価証券売買時の売買委託手数料</li> <li>・ 先物取引やオプション取引等に要する費用</li> <li>・ 資産を外国で保管する場合の費用</li> <li>・ 借入金の利息、融資枠の設定に要する費用</li> <li>・ 受託会社の立て替えた立替金の利息</li> <li>・ 投資信託財産に関する租税</li> <li>・ 信託事務の処理等に要する諸費用</li> </ul>
計算方法等	運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法を記載できません。
支払方法	受益者の負担とし、投資信託財産中から実費を支弁します。

## その他信託事務の諸費用

該当する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査費用（ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用）</li> <li>・ 法律顧問への報酬</li> <li>・ 受益権の管理事務等に関連する費用</li> <li>・ 有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書の作成および届出または提出にかかる費用</li> <li>・ 目論見書の作成、印刷および交付にかかる費用</li> <li>・ ファンドの受益者に対してする公告にかかる費用、ならびに信託約款の変更または信託契約の解約にかかる事項を記載した書面の作成、印刷および交付にかかる費用</li> <li>・ 運用報告書の作成、印刷および交付にかかる費用</li> </ul>		
計算方法等	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">その他信託事務の諸費用 上限固定率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">純資産総額に対して年率0.108%（税抜き0.10%）</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託会社は、その他信託事務の諸費用の支払いを投資信託財産のために行い、支払金額の支払いを投資信託財産から受けることができます。</li> <li>・ 委託会社は、実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、その他信託事務の諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もった結果として、投資信託財産の純資産総額の年率0.108%（税抜き0.10%）相当額を上限とし一定の率を定め、かかるその他信託事務の諸費用の合計額とみなし、ファンドより受領することができます。</li> <li>・ 委託会社は、投資信託財産の規模等を考慮して、信託期間中に、上限、固定率または固定金額を合理的に計算された範囲内で変更することができます。</li> </ul>	その他信託事務の諸費用 上限固定率	純資産総額に対して年率0.108%（税抜き0.10%）
その他信託事務の諸費用 上限固定率			
純資産総額に対して年率0.108%（税抜き0.10%）			
支払方法	毎日計上し、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産中から、消費税等相当額とともに、委託会社に支払われます。		

上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

## (5) 【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。日本の居住者（法人を含む。）である受益者に対する課税上の取り扱いは、以下のとおりです。

#### 個人の受益者に対する課税の取り扱い

分配金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として、以下の税率による源泉徴収が行われます。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="496 360 1394 517"> <tr> <td data-bbox="496 360 879 439">平成49年12月31日まで</td> <td data-bbox="879 360 1394 439">20.315% (所得税15.315%および地方税5%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="496 439 879 517">平成50年1月1日以降</td> <td data-bbox="879 439 1394 517">20% (所得税15%および地方税5%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として確定申告は不要ですが、確定申告により総合課税（配当控除は適用されません。）または申告分離課税を選択することも可能です。</li> </ul>	平成49年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)	平成50年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)
平成49年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)				
平成50年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)				
解約金および償還金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> <li>解約時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、以下の税率による申告分離課税が適用されます。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="496 696 1394 853"> <tr> <td data-bbox="496 696 879 775">平成49年12月31日まで</td> <td data-bbox="879 696 1394 775">20.315% (所得税15.315%および地方税5%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="496 775 879 853">平成50年1月1日以降</td> <td data-bbox="879 775 1394 853">20% (所得税15%および地方税5%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収あり）を利用した場合は、申告不要です。</li> </ul>	平成49年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)	平成50年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)
平成49年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)				
平成50年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)				
損益通算について	<ul style="list-style-type: none"> <li>解約時および償還時の差損（譲渡損）については、確定申告により他の上場株式等の譲渡益および上場株式等の配当所得の金額（申告分離課税を選択したものに限り）と損益通算すること、または特定口座（源泉徴収あり）の利用により当該特定口座内の他の上場株式等の譲渡益および上場株式等の配当所得の金額と損益通算することができます。</li> <li>解約時および償還時の差益（譲渡益）については、他の上場株式等の譲渡損と損益通算することができます。</li> </ul>				

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」について

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が最長5年間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。ご利用になれるのは、日本国内居住の満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## 法人の受益者に対する課税の取り扱い

分配金、解約金および償還金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率により所得税が源泉徴収されます。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>平成49年12月31日まで</td> <td>15.315%</td> </tr> <tr> <td>平成50年1月1日以降</td> <td>15%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>源泉徴収された所得税は、所有期間に応じて法人税額より控除することができます。</li> </ul>		平成49年12月31日まで	15.315%	平成50年1月1日以降	15%
	平成49年12月31日まで	15.315%				
平成50年1月1日以降	15%					
益金不算入制度の適用	益金不算入制度は、適用されません。					

## 個別元本について

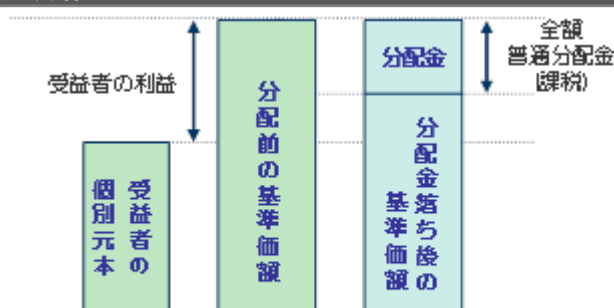
- 追加型株式投資信託について、受益者ごとの取得時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（以下「個別元本」といいます。）にあたります。
- 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、原則として個別元本は、当該受益者が追加取得を行う都度、当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

「元本払戻金（特別分配金）」については、下記「分配金の課税について」をご参照ください。

## 分配金の課税について

追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者ごとの元本の一部払い戻しに相当する部分）の区分があります。

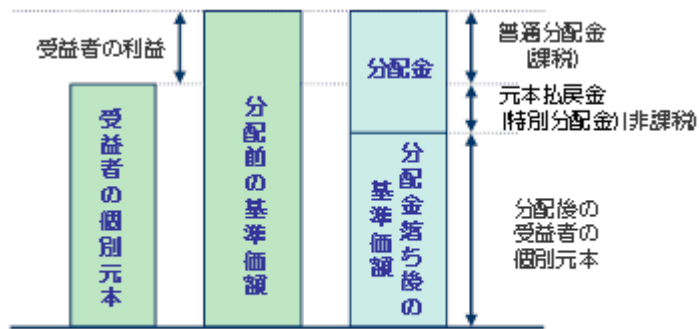
## 普通分配金



※上図は、イメージ図であり 個別元本、基準価額、分配金を示唆するものではありません。

分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本と同額または上回っている場合、分配金の全額が普通分配金となります。

## 元本払戻金(特別分配金)



※上図は、イメージ図であり、個別元本、基準価額、分配金を示唆するものではありません。

分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本を下回っている場合、その下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となり、分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

上記は、平成27年1月末現在の情報に基づくものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。その結果、上記の記載内容に変更が生じることがあります。

税金の取り扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

## (1)【投資状況】(平成27年1月30日現在)

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	307,685,378	100.11
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		360,668	0.11
合計(純資産総額)		307,324,710	100.00

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じです。

## (参考)インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株 式	アメリカ	132,245,747	42.97
	イギリス	34,935,321	11.35
	フランス	17,150,260	5.57
	ドイツ	16,955,405	5.51
	スイス	14,983,042	4.86
	日本	13,317,580	4.32
	オーストラリア	11,968,013	3.88
	カナダ	7,039,451	2.28
	スペイン	6,693,532	2.17
	オランダ	6,119,300	1.98
	スウェーデン	5,382,515	1.74
	イタリア	4,418,264	1.43
	香港	3,034,063	0.98
	フィンランド	2,873,683	0.93
	デンマーク	2,383,793	0.77
	ベルギー	2,198,567	0.71
	シンガポール	879,257	0.28
	ノルウェー	879,139	0.28
	ニュージーランド	697,116	0.22
	イスラエル	633,081	0.20
オーストリア	469,431	0.15	
アイルランド	407,975	0.13	
ポルトガル	287,182	0.09	
	小 計	285,951,717	92.93
投資証券	アメリカ	1,709,999	0.55
	オーストラリア	1,425,051	0.46
	イギリス	833,052	0.27
	フランス	781,928	0.25
	シンガポール	402,270	0.13
	オランダ	146,125	0.04
		小 計	5,298,425

コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	16,445,533	5.34
合計(純資産総額)	307,695,675	100.00

## (2) 【投資資産】(平成27年1月30日現在)

## 【投資有価証券の主要銘柄】

国/地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額単価 帳簿価額金額 (円)	評価額単価 評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	インベスコ 先進国 株式インデックス マザーファンド	213,774,320	1.4268 305,013,222	1.4393 307,685,378	100.11

## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.11
合計	100.11

## (参考)インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量 (株式数)	帳簿価額 単価(円)	帳簿価額 金額(円)	評価額 単価(円)	評価額 金額(円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	APPLE	テクノロジー・ ハードウェアお よび機器	660	11,059.65	7,299,372	14,059.92	9,279,551	3.01
2	アメリカ	株式	EXXON MOBIL	エネルギー	570	11,788.98	6,719,722	10,356.33	5,903,111	1.91
3	アメリカ	株式	MICROSOFT	ソフトウェア・ サービス	900	4,969.71	4,472,747	4,967.68	4,470,914	1.45
4	アメリカ	株式	WELLS FARGO	銀行	619	6,100.48	3,776,201	6,238.87	3,861,861	1.25
5	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオ テクノロジー・ ライフサイエン ス	300	12,053.22	3,615,967	12,106.43	3,631,931	1.18
6	アメリカ	株式	GENERAL ELECTRIC	資本財	1,200	3,170.92	3,805,108	2,847.46	3,416,952	1.11
7	スイス	株式	NESTLE-REG	食品・飲料・タ バコ	367	9,005.71	3,305,097	9,087.17	3,334,995	1.08
8	スイス	株式	NOVARTIS-REG	医薬品・バイオ テクノロジー・ ライフサイエン ス	262	10,826.72	2,836,603	11,679.85	3,060,121	0.99
9	アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE	家庭用品・パー ソナル用品	300	9,410.33	2,823,100	10,130.47	3,039,143	0.98
10	アメリカ	株式	VERIZON COMMUNICATIONS	電気通信サービ ス	549	5,821.56	3,196,037	5,452.50	2,993,427	0.97
11	アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	400	6,789.91	2,715,966	6,582.97	2,633,191	0.85
12	アメリカ	株式	PFIZER	医薬品・バイオ テクノロジー・ ライフサイエン ス	689	3,483.43	2,400,087	3,763.89	2,593,325	0.84
13	スイス	株式	ROCHE HOLDING- GENUSSCHEIN	医薬品・バイオ テクノロジー・ ライフサイエン ス	75	34,843.24	2,613,243	32,434.04	2,432,553	0.79
14	アメリカ	株式	INTEL	半導体・半導体 製造装置	600	3,541.58	2,124,953	4,045.33	2,427,200	0.78
15	アメリカ	株式	MERCK	医薬品・バイオ テクノロジー・ ライフサイエン ス	319	6,865.59	2,190,124	7,342.14	2,342,143	0.76

16	アメリカ	株式	AT & T	電気通信サービス	600	4,125.64	2,475,386	3,897.52	2,338,512	0.76
17	イギリス	株式	HSBC HOLDINGS	銀行	2,122	1,108.61	2,352,488	1,102.01	2,338,466	0.75
18	日本	株式	トヨタ自動車	自動車・自動車部品	300	5,884.00	1,765,200	7,645.00	2,293,500	0.74
19	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA	銀行	1,241	1,858.23	2,306,074	1,824.59	2,264,325	0.73
20	アメリカ	株式	ORACLE	ソフトウェア・サービス	400	5,004.34	2,001,736	5,068.19	2,027,278	0.65
21	アメリカ	株式	COCA-COLA	食品・飲料・タバコ	400	4,838.79	1,935,516	4,978.32	1,991,330	0.64
22	アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	600	2,962.45	1,777,475	3,218.76	1,931,259	0.62
23	アメリカ	株式	ALTRIA GROUP	食品・飲料・タバコ	300	5,628.30	1,688,491	6,431.61	1,929,485	0.62
24	アメリカ	株式	COMCAST-A	メディア	300	6,264.68	1,879,406	6,370.12	1,911,038	0.62
25	アメリカ	株式	CITIGROUP	銀行	330	5,651.16	1,864,885	5,631.06	1,858,251	0.60
26	アメリカ	株式	AMGEN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	100	13,737.10	1,373,710	18,490.75	1,849,075	0.60
27	アメリカ	株式	AMAZON.COM	小売	50	38,504.56	1,925,228	36,867.98	1,843,399	0.59
28	アメリカ	株式	INTL BUSINESS MACHINES	ソフトウェア・サービス	100	21,552.25	2,155,225	18,385.51	1,838,551	0.59
29	アメリカ	株式	GOOGLE-A	ソフトウェア・サービス	30	65,110.20	1,953,306	60,689.43	1,820,683	0.59
30	アメリカ	株式	GOOGLE-C	ソフトウェア・サービス	30	64,210.93	1,926,328	60,385.53	1,811,566	0.58



## 種類別および業種別投資比率

種 類	業 種	投資比率(%)
株式	銀行	10.87
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.39
	エネルギー	7.80
	資本財	6.68
	食品・飲料・タバコ	6.30
	ソフトウェア・サービス	5.85
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.99
	素材	4.79
	電気通信サービス	4.24
	保険	4.05
	自動車・自動車部品	3.13
	公益事業	2.60
	各種金融	2.59
	小売	2.34
	運輸	2.34
	メディア	2.23
	食品・生活必需品小売り	2.19
	家庭用品・パーソナル用品	1.99
	ヘルスケア機器・サービス	1.92
	半導体・半導体製造装置	1.67
	耐久消費財・アパレル	1.56
消費者サービス	1.28	
商業・専門サービス	0.88	
不動産	0.11	
	小 計	92.93
投資証券	-	1.72
	合 計	94.65

(注)業種については、MSCI世界産業分類基準の産業グループに準じています。

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (参考)インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド

種類	取引所	資産の名称	買建 売建	数量	通貨	帳簿価額	評価額	評価額 (円)	投資 比率 (%)
株価指数 先物取引	シカゴ商業取引所	S&P500 EMINI	買建	1	米ドル	102,992.5	100,925	11,934,381	3.87

## (3)【運用実績】

## 【純資産の推移】

	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1特定期間末 (平成20年6月18日)	348	350	1.0189	1.0223
第2特定期間末 (平成20年12月18日)	260	262	0.5219	0.5254
第3特定期間末 (平成21年6月18日)	323	325	0.5816	0.5846
第4特定期間末 (平成21年12月18日)	391	393	0.6470	0.6500
第5特定期間末 (平成22年6月18日)	404	406	0.6339	0.6369
第6特定期間末 (平成22年12月20日)	398	399	0.6585	0.6615
第7特定期間末 (平成23年6月20日)	381	383	0.6386	0.6416
第8特定期間末 (平成23年12月19日)	325	327	0.5516	0.5546
第9特定期間末 (平成24年6月18日)	329	331	0.5970	0.6000
第10特定期間末 (平成24年12月18日)	344	346	0.6970	0.7000
第11特定期間末 (平成25年6月18日)	384	385	0.8677	0.8707
第12特定期間末 (平成25年12月18日)	336	337	1.0080	1.0110
第13特定期間末 (平成26年6月18日)	284	285	1.0886	1.0916
第14特定期間末 (平成26年12月18日)	308	309	1.1937	1.1967
平成26年1月末日	306	-	1.0151	-
平成26年2月末日	315	-	1.0443	-
平成26年3月末日	302	-	1.0572	-
平成26年4月末日	299	-	1.0703	-
平成26年5月末日	301	-	1.0771	-
平成26年6月末日	287	-	1.0853	-
平成26年7月末日	292	-	1.0963	-
平成26年8月末日	287	-	1.1082	-
平成26年9月末日	292	-	1.1339	-
平成26年10月末日	288	-	1.1228	-
平成26年11月末日	312	-	1.2525	-
平成26年12月末日	322	-	1.2529	-
平成27年1月末日	307	-	1.2024	-

## 【分配の推移】

	1口当たりの分配金(円)
第1特定期間 (平成20年4月23日～平成20年6月18日)	0.0035
第2特定期間 (平成20年6月19日～平成20年12月18日)	0.0070
第3特定期間 (平成20年12月19日～平成21年6月18日)	0.0060
第4特定期間 (平成21年6月19日～平成21年12月18日)	0.0060
第5特定期間 (平成21年12月19日～平成22年6月18日)	0.0060
第6特定期間 (平成22年6月19日～平成22年12月20日)	0.0060
第7特定期間 (平成22年12月21日～平成23年6月20日)	0.0060
第8特定期間 (平成23年6月21日～平成23年12月19日)	0.0060
第9特定期間 (平成23年12月20日～平成24年6月18日)	0.0060
第10特定期間 (平成24年6月19日～平成24年12月18日)	0.0060
第11特定期間 (平成24年12月19日～平成25年6月18日)	0.0060
第12特定期間 (平成25年6月19日～平成25年12月18日)	0.0060
第13特定期間 (平成25年12月19日～平成26年6月18日)	0.0060
第14特定期間 (平成26年6月19日～平成26年12月18日)	0.0060

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第1特定期間	2.23
第2特定期間	48.09
第3特定期間	12.59
第4特定期間	12.28
第5特定期間	1.10
第6特定期間	4.83
第7特定期間	2.11
第8特定期間	12.68
第9特定期間	9.32
第10特定期間	17.76
第11特定期間	25.35
第12特定期間	16.86
第13特定期間	8.59
第14特定期間	10.21

(注1)収益率は、各特定期間末の基準価額(分配落の額)から前特定期間末の基準価額(分配落の額。以下「前特定期間末基準価額」といいます。)を控除した額に特定期間中の分配金累計額を加算し、前特定期間末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。

(注2)第1特定期間については、前特定期間末の基準価額の代わりに当初設定元本(1口当たり1円)を使用しております。

## (4)【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1特定期間	345,438,256	2,938,296
第2特定期間	212,293,634	55,297,243
第3特定期間	110,403,599	53,418,815
第4特定期間	101,549,594	53,099,816
第5特定期間	157,094,358	123,162,768
第6特定期間	71,552,393	105,740,530
第7特定期間	86,343,729	93,050,964
第8特定期間	31,357,115	38,941,468
第9特定期間	22,536,695	60,825,075
第10特定期間	22,788,247	80,553,205
第11特定期間	23,424,234	74,810,431
第12特定期間	11,291,884	120,178,740
第13特定期間	10,086,727	82,455,554
第14特定期間	26,096,878	29,410,517

(注1)設定数量には当初設定数量を含みます。

(注2)本邦外における設定、解約の実績はありません。

(参考情報)交付目論見書に記載する運用実績

(2015年1月30日現在)

## 基準価額・純資産の推移

### ■基準価額・純資産総額の推移(設定来)



\* 基準価額、分配金再投資基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後のものです。

\* 分配金再投資基準価額は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。

基準価額	12,024円
純資産総額	307百万円

### ■期間騰落率

期間	ファンド
1カ月	-4.0%
3カ月	7.4%
6カ月	10.2%
1年	19.7%
3年	113.7%
5年	103.7%
設定来	35.0%

\* 期間騰落率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 分配の推移

決算期	2013年12月	2014年3月	2014年6月	2014年9月	2014年12月	設定来累計
分配金	30円	30円	30円	30円	30円	825円

## 主要な資産の状況

【ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。】

### ■資産配分

種別名	純資産比
株式	94.7%
先物取引	3.9%
キャッシュ等	1.5%

銘柄数 537

\* 株式には、投資信託証券などが含まれています。

### ■組入上位5カ国

国名	純資産比
1 アメリカ	43.5%
2 イギリス	11.6%
3 フランス	5.8%
4 ドイツ	5.5%
5 スイス	4.9%

### ■組入上位10銘柄

銘柄名	国名	業種	純資産比
1 APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.0%
2 EXXON MOBIL	アメリカ	エネルギー	1.9%
3 MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.5%
4 WELLS FARGO	アメリカ	銀行	1.3%
5 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.2%
6 GENERAL ELECTRIC	アメリカ	資本財	1.1%
7 NESTLE-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	1.1%
8 NOVARTIS-REG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.0%
9 PROCTER & GAMBLE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.0%
10 VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	1.0%

\* 国名は、発行体の国籍(所在国)などで区分しています。

\* 業種は、MSCI世界産業分類基準の産業グループに準じています。ただし、業種の情報が入手できない銘柄については、委託会社の判断により独自に分類していることがあります。

## 年間収益率の推移



\* ファンドのベンチマークは、MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)です。

\* ファンドの年間収益率は、分配金再投資基準価額を基に算出しています。

\* 2006年および2007年はベンチマークの騰落率を表示しています。

\* 2008年はファンドの設定日(2008年4月23日)から年末まで、2015年は1月末までの騰落率を表示しています。

・運用実績は、過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。  
 ・最新の運用状況は、委託会社のホームページでご覧いただけます。

## 第2【管理及び運営】

## 1【申込（販売）手続等】

購入方法	販売会社において、販売会社所定の方法でお申し込みください。 「自動けいぞく投資コース」をお申し込みいただく投資者は、自動けいぞく投資契約（別の名称で同様の権利義務を規定する契約を含みます。）をお申し込みの販売会社との間で結んでいただきます。 なお、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
購入申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日または英国のイースター、クリスマスおよびボクシング・デーにあたる英国証券取引所の休業日のいずれかに該当する日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。
購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、分配金が税引後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」と、分配金を受け取る「一般コース」の2コースがあります。 * 「自動けいぞく投資コース」において分配金を再投資する場合は、1口単位とします。
購入申込締切時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、毎営業日の午後3時までに購入のお申し込みが行われ、かつ販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の申込受付分とします。</li> <li>・当日の受付終了後のお申し込みは、翌営業日の申込受付分として取り扱います。</li> <li>・取引所などにおける取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、受益権の購入申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入申し込みの受け付けを取り消すことがあります。</li> </ul>
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 ただし、「自動けいぞく投資コース」において分配金を再投資する場合の購入価額は、ファンドの各計算期間終了日の基準価額とします。
購入時手数料	購入口数、購入金額または購入代金などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める2.16%（税抜き2.00%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。 詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
購入代金の支払い	販売会社が定める期日までにお支払いください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動けいぞく投資コース」 販売会社の定める購入単位に従った投資者ご指定の金額を、購入代金としてお申し込みの販売会社にお支払いいただきます。 なお、購入時手数料は購入代金から差し引かれます。</li> <li>・「一般コース」 購入金額に購入時手数料を加算した金額を、購入代金としてお申し込みの販売会社にお支払いいただきます。</li> </ul>

購入の申し込みにかかる受益権の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"><li>・購入のお申し込みを行う投資者は、販売会社に、購入申し込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振り替えを行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。</li><li>・販売会社は、当該購入申し込みの代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該購入申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。</li><li>・委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)に定める事項の振替機関への通知を行うものとし、振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定に従い、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。</li><li>・受託会社は、追加信託により生じた受益権については、追加信託の都度、振替機関の定める方法により振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。</li></ul>
---------------------	---

## 2【換金（解約）手続等】

換金方法	販売会社において、販売会社所定の方法でお申し込みください。
換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日または英国のイースター、クリスマスおよびボクシング・デーにあたる英国証券取引所の休業日のいずれかに該当する日には、換金のお申し込みの受け付けを行いません。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金申込締切時間	原則として、毎営業日の午後3時までに換金のお申し込みが行われ、かつ販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の申込受付分とします。 当日の受付終了後のお申し込みは、翌営業日の申込受付分として取り扱います。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
換金代金の支払い	原則として、換金の申込受付日から起算して5営業日目から、販売会社でお支払いいたします。
換金の申し込み受け付けの中止等	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。</li> <li>取引所などにおける取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。</li> <li>換金のお申し込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受け付け中止以前に行った当日の換金のお申し込みを撤回できます。ただし、受益者がその換金のお申し込みを撤回しない場合には、当該受益権の換金価額は、当該受け付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金のお申し込みを受け付けたものとして、上記「換金価額」に準じて計算された価額とします。</li> </ul>
換金にかかる受益権の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>換金のお申し込みを行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の換金のお申し込みにかかるファンドの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定に従い当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。</li> <li>受益者が換金のお申し込みを行うときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。</li> </ul>
償還金の支払い	原則として、信託終了日から起算して5営業日目までに、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者 に対し、販売会社でお支払いを開始いたします。 償還日以前において、一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で、購入代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として、購入申込者とします。



## 3【資産管理等の概要】

## (1)【資産の評価】

<p>基準価額の算定</p>	<p>基準価額とは、ファンドの投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権口数で除した金額をいいます。</p> <p>基準価額の算定にあたり、投資信託財産に属する外貨建資産の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。</p> <div data-bbox="528 551 1355 994" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>基準価額の計算方法</b></p> <p>ファンドの純資産総額 = ファンドの資産総額 - ファンドの負債総額          ファンドの基準価額 = ファンドの純資産総額 ÷ ファンドの受益権口数</p> </div>						
<p>基準価額の算出頻度と公表</p>	<p>基準価額は委託会社の営業日に日々算出され、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に「先進国イ」の銘柄名で掲載されるほか、以下に照会することにより知ることができます。</p> <p>なお、基準価額は便宜上1万口あたりに換算した価額で表示されることがあります。</p> <p style="text-align: center;">基準価額の照会先</p> <div data-bbox="528 1274 1355 1496" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; background-color: #f0f0f0;"> <p>インベスコ・アセット・マネジメント株式会社</p> <p>お問い合わせダイヤル 03-6447-3100</p> <p>受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで</p> <p>ホームページ <a href="http://www.invesco.co.jp/">http://www.invesco.co.jp/</a></p> </div>						
<p>主な投資資産の評価方法</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">投資資産</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親投資信託 受益証券</td> <td>親投資信託受益証券の基準価額で評価します。</td> </tr> <tr> <td>株式</td> <td>原則として、金融商品取引所または外国金融商品市場などにおける最終相場で評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	投資資産	評価方法	親投資信託 受益証券	親投資信託受益証券の基準価額で評価します。	株式	原則として、金融商品取引所または外国金融商品市場などにおける最終相場で評価します。
投資資産	評価方法						
親投資信託 受益証券	親投資信託受益証券の基準価額で評価します。						
株式	原則として、金融商品取引所または外国金融商品市場などにおける最終相場で評価します。						

## (2)【保管】

受益証券の保管	原則として受益証券は発行されないため、受益証券の保管に関する事項はありません。 * ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります。
---------	---

## (3)【信託期間】

ファンドの信託期間	無期限（設定日：平成20年4月23日）とします。 なお、信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回る事となった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
-----------	---

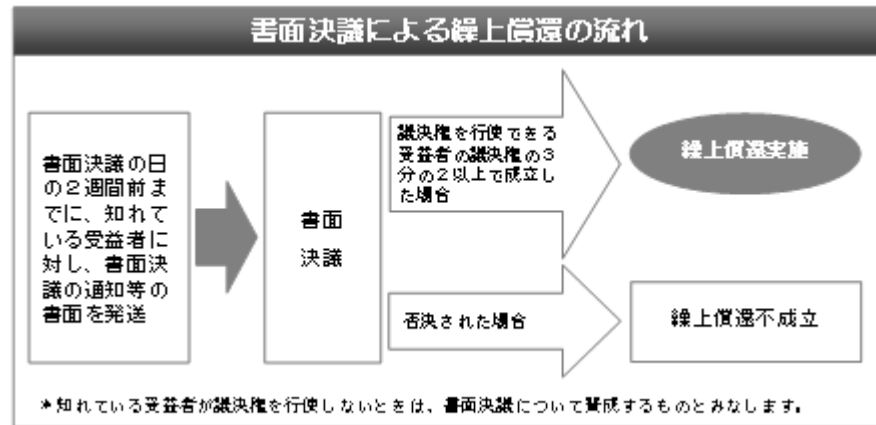
## (4)【計算期間】

ファンドの計算期間	ファンドの計算期間は、原則として毎年3月19日から6月18日、6月19日から9月18日、9月19日から12月18日および12月19日から翌年3月18日までとします。 なお、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。
-----------	---

## (5)【その他】

## 繰上償還

- ・ 委託会社は、信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回る事となった場合、信託期間中においてファンドの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
- ・ 委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- ・ 信託契約の解約は、以下の手続きで行います。



- \* 上記の手続きは、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、ファンドの信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- \* 上記の手続きは、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記の手続きを行うことが困難な場合には適用しません。
- \* 委託会社は、監督官庁よりファンドの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、信託契約を解約し信託を終了させます。

信託約款の変更等	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは受託会社と合意のうえ、ファンドの信託約款を変更することまたはファンドと他のファンドとの併合を行うことができます。 投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じです。</li> <li>委託会社は、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、ファンドの信託約款は当「信託約款の変更等」に定める以外の方法によって変更することができないものとしします。</li> <li>その内容が重大なものおよび併合（以下「重大な信託約款の変更等」といいます。）は、以下の手続きで行います。</li> </ul> <div data-bbox="507 555 1385 992" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>重大な信託約款の変更等の流れ</b></p> <pre> graph LR     A[書面決議の日の2週間前までに、知れている受益者に対し、書面決議の通知等の書面を送信] --&gt; B[書面決議]     B -- "議決権を行使できる受益者の議決権の3分の2以上で成立した場合" --&gt; C([約款変更実施])     B -- "否決された場合" --&gt; D[約款変更不成立]   </pre> <p><small>*知れている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。 *書面決議の効力は、ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。</small></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 上記の手続きは、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、ファンドの信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。</li> <li>* ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合であっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行うことはできません。</li> <li>* 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてファンドの信託約款を変更しようとするときは、上記の手続きに従います。</li> </ul>
反対受益者の受益権買取請求の不適用	<p>当ファンドは、前記「繰上償還」に規定する信託契約の解約、または「信託約款の変更等」に規定する重大な信託約款の変更等を行う場合、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。</p>
関係会社との契約の更新等に関する手続きについて	<p>委託会社と販売会社との間で締結される「受益権の募集・販売等に関する契約」は、期間満了の3カ月前までに、委託会社、販売会社いずれからも別段の意思表示のないときは、自動的に1年間延長されます。自動延長後の取り扱いも同様です。</p>
運用報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託会社は、年2回（6月と12月の決算時）および償還時に交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書）を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に、販売会社よりお届けします。</li> <li>委託会社は、運用報告書（全体版）（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書）を作成し、委託会社のホームページに掲載します。</li> <li>上記にかかわらず、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。</li> </ul>
公告	<p>受益者に対する公告は、日本経済新聞に掲載します。</p>

## 4【受益者の権利等】

分配金に対する請求権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者は、委託会社の決定した分配金を、持ち分に応じて請求する権利を有します。</li> <li>・分配金は、毎計算期間終了日後1カ月以内の委託会社の指定する日から、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。</li> <li>・「自動けいぞく投資コース」に基づいて分配金を再投資する受益者に対しては、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に、分配金が販売会社に交付されます。販売会社は、受益者に対し遅滞なく分配金の再投資にかかる受益権の取得申し込みに応じます。</li> <li>・受益者が、分配金の支払開始日から5年間支払いを請求しないときはその権利を失い、その金額は、委託会社に帰属するものとします。</li> </ul>
償還金に対する請求権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者は、持ち分に応じて償還金を請求する権利を有します。</li> <li>・償還金は、信託終了日後1カ月以内の委託会社の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。</li> <li>・受益者が、償還金の支払開始日から10年間支払いを請求しないときはその権利を失い、その金額は、委託会社に帰属するものとします。</li> </ul>
受益権の換金（解約）請求権	受益者は、受益権の換金（解約）を請求することができます。
受益権均等分割	受益者は、自己に帰属する受益権の口数に応じて、均等にファンドの受益権を保有します。
帳簿閲覧権	受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧・謄写を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6カ月未満であるため、財務諸表は6カ月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(平成26年6月19日から平成26年12月18日まで)の財務諸表について、あらた監査法人による監査を受けております。

## 1【財務諸表】

先進国株式インデックス・ファンド

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 (平成26年6月18日現在)	当期 (平成26年12月18日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
親投資信託受益証券	284,865,049	308,424,359
未収入金	1,510,865	1,496,621
流動資産合計	286,375,914	309,920,980
資産合計	286,375,914	309,920,980
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	785,062	775,121
未払受託者報酬	64,519	64,137
未払委託者報酬	580,664	577,219
その他未払費用	80,620	80,144
流動負債合計	1,510,865	1,496,621
負債合計	1,510,865	1,496,621
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	261,687,560	258,373,921
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	23,177,489	50,050,438
（分配準備積立金）	86,805,786	102,049,270
元本等合計	284,865,049	308,424,359
純資産合計	284,865,049	308,424,359
負債純資産合計	286,375,914	309,920,980

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期	当期
	自 平成25年12月19日 至 平成26年 6月18日	自 平成26年 6月19日 至 平成26年12月18日
営業収益		
有価証券売買等損益	27,392,648	29,766,034
営業収益合計	27,392,648	29,766,034
営業費用		
受託者報酬	129,919	127,122
委託者報酬	1,169,266	1,144,037
その他費用	162,346	158,839
営業費用合計	1,461,531	1,429,998
営業利益又は営業損失（ ）	25,931,117	28,336,036
経常利益又は経常損失（ ）	25,931,117	28,336,036
当期純利益又は当期純損失（ ）	25,931,117	28,336,036
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	2,889,839	1,243,622
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	2,671,550	23,177,489
剰余金増加額又は欠損金減少額	536,319	5,020,242
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	536,319	5,020,242
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,429,181	3,691,707
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,429,181	3,691,707
分配金	1,642,477	1,548,000
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	23,177,489	50,050,438



## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
-----------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

前期 (平成26年6月18日現在)		当期 (平成26年12月18日現在)	
1. 期首元本額	334,056,387円	1. 期首元本額	261,687,560円
期中追加設定元本額	10,086,727円	期中追加設定元本額	26,096,878円
期中解約元本額	82,455,554円	期中解約元本額	29,410,517円
2. 特定期間末日における受益権の総数	261,687,560口	2. 特定期間末日における受益権の総数	258,373,921口

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成25年12月19日 至 平成26年6月18日	当期 自 平成26年6月19日 至 平成26年12月18日
<p>分配金の計算過程 (平成25年12月19日から平成26年3月18日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,632,304円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(6,598,960円)、信託約款に規定される収益調整金(4,151,994円)及び分配準備積立金(73,260,948円)より分配対象収益は85,644,206円(1万口当たり2,996.57円)であり、うち857,415円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>	<p>分配金の計算過程 (平成26年6月19日から平成26年9月18日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,274,390円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(14,347,086円)、信託約款に規定される収益調整金(7,135,887円)及び分配準備積立金(83,117,674円)より分配対象収益は105,875,037円(1万口当たり4,109.61円)であり、うち772,879円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>

<p>(平成26年3月19日から平成26年6月18日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,470,875円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(12,339,139円)、信託約款に規定される収益調整金(4,862,755円)及び分配準備積立金(72,780,834円)より分配対象収益は92,453,603円(1万口当たり3,532.96円)であり、うち785,062円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>	<p>(平成26年9月19日から平成26年12月18日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,261,644円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(10,209,294円)、信託約款に規定される収益調整金(14,069,062円)及び分配準備積立金(91,353,453円)より分配対象収益は116,893,453円(1万口当たり4,524.17円)であり、うち775,121円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>
--	---

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、親投資信託受益証券を主要投資対象としております。投資する親投資信託受益証券は、インベスコ 先進国株式インデックスマザーファンドです。</p> <p>親投資信託受益証券は、株価の変動リスク、カントリー・リスク、為替変動リスク等にさらされております。</p> <p>また、親投資信託受益証券は、為替予約取引および株価指数先物取引を利用しております。</p> <p>当該デリバティブ取引のうち、為替予約取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、親投資信託受益証券に対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、親投資信託受益証券が利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>当該デリバティブ取引のうち、株価指数先物取引に係る主要なリスクは、対象指数または対象証券の動き等を反映して変動する価格変動リスクであります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取締役会で定めたりスク管理の基本方針、及びリスク管理規程に従い、包括的なリスク管理を「リスク管理委員会」(以下「RMC」といいます。)で行います。RMCは、社内各部署から報告された各種リスクを検討、協議し、具体的なリスク管理方針を策定します。</p> <p>RMCでは、分会として「運用リスク管理委員会」(以下「IRMC」といいます。)を開催し、運用リスクの管理を行います。IRMCは、運用リスクを把握し、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をRMCへ報告します。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 (平成26年6月18日現在)	当期 (平成26年12月18日現在)
----	----------------------	-----------------------

1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種 類	前期 (平成26年6月18日現在)	当期 (平成26年12月18日現在)
	当特定期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当特定期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	15,504,323	12,296,346
合 計	15,504,323	12,296,346

## (デリバティブ取引等に関する注記)

前期 (平成26年6月18日現在)	当期 (平成26年12月18日現在)
該当事項はありません。	同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 平成25年12月19日 至 平成26年6月18日	当期 自 平成26年6月19日 至 平成26年12月18日
該当事項はありません。	同左

## (1口当たり情報に関する注記)

前期 (平成26年6月18日現在)	当期 (平成26年12月18日現在)
1口当たり純資産額 1.0886円 (1万口当たり純資産額 10,886円)	1口当たり純資産額 1.1937円 (1万口当たり純資産額 11,937円)

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券(親投資信託受益証券)

(平成26年12月18日現在)

種類	銘柄	券面総額	評価額(円)	備考
親投資信託 受益証券	インベスコ 先進国株式イン デックス マザーファンド	216,104,512	308,424,359	
	合計	216,104,512	308,424,359	

(注)親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 参考情報

当ファンドは、「インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券です。同ファンドの状況は次の通りです。

「インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

## 貸借対照表

(単位：円)

区 分	注記 番号	(平成26年 6 月18日現在)	(平成26年12月18日現在)
		金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
預金		18,302,900	8,514,679
コール・ローン		1,665,104	2,961,734
株式		255,029,748	283,805,035
投資証券		4,629,381	5,027,829
派生商品評価勘定		54,210	57,607
未収入金		13,381	4,860
未収配当金		573,979	301,324
前払金		5,235,958	8,705,683
差入委託証拠金		883,770	546,388
流動資産合計		286,388,431	309,925,139
資産合計		286,388,431	309,925,139
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		1,850	-
未払金		-	14,863
未払解約金		1,510,865	1,496,621
流動負債合計		1,512,715	1,511,484
負債合計		1,512,715	1,511,484
純資産の部			
元本等			
元本		221,065,536	216,104,512
剰余金			
剰余金又は欠損金( )		63,810,180	92,309,143
元本等合計		284,875,716	308,413,655
純資産合計		284,875,716	308,413,655
負債純資産合計		286,388,431	309,925,139

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)株式  移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。  時価評価にあたっては、金融商品取引所(金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第16項に規定するものをいい、以下「取引所」といいます。)及び外国金融商品市場(金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定するものをいいます。)又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2)投資証券  移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。  時価評価にあたっては、投資証券の基準価額、外国金融商品市場(金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第8項第3号口に規定するものをいいます。)における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価格)、又は第一種金融商品取引業者から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)市場デリバティブ取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。  時価評価にあたっては、原則として、本書における開示対象ファンドの特定期間末日に知りうる直近の日の主たる海外取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引  為替予約の評価は、原則として、本書における開示対象ファンドの特定期間末日におけるわが国の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
<p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準  外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

(平成26年6月18日現在)	
1. 本書における開示対象ファンドの期首における	
当該親投資信託の元本額	285,169,324円
同期中における追加設定元本額	8,585,410円
同期中における解約元本額	72,689,198円
同特定期間末日における元本の内訳	
(保有ファンド名)	(金額)
先進国株式インデックス・ファンド	221,065,536円
合計	221,065,536円
2. 本書における開示対象ファンドの特定期間末日における	
当該親投資信託の受益権の総数	221,065,536口

(平成26年12月18日現在)	
1. 本書における開示対象ファンドの期首における	
当該親投資信託の元本額	221,065,536円
同期中における追加設定元本額	21,935,885円
同期中における解約元本額	26,896,909円
同特定期間末日における元本の内訳	
(保有ファンド名)	(金額)
先進国株式インデックス・ファンド	216,104,512円
合計	216,104,512円
2. 本書における開示対象ファンドの特定期間末日における	
当該親投資信託の受益権の総数	216,104,512口



## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドが保有する金融資産は、主として国内外の株式であります。</p> <p>国内外の株式は、株価の変動リスク、カントリー・リスク、為替変動リスク等にさらされております。</p> <p>また、当ファンドは、為替予約取引および株価指数先物取引を利用しております。</p> <p>当該デリバティブ取引のうち、為替予約取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、当ファンドに対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、当ファンドが利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>当該デリバティブ取引のうち、株価指数先物取引に係わる主要なリスクは、対象指数または対象証券の動き等を反映して変動する価格変動リスクであります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドに投資する証券投資信託の「(金融商品に関する注記)」に記載しております。

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成26年6月18日現在)	(平成26年12月18日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は本書における開示対象ファンドの特定期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	当ファンドに投資する証券投資信託の「(金融商品に関する注記)」に記載しております。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種 類	(平成26年 6 月18日現在)	(平成26年12月18日現在)
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
株 式	34,360,011	4,207,895
投資証券	225,912	273,414
合 計	34,585,923	3,934,481

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの特定期間末日までの期間に対応する金額であります。

## (デリバティブ取引等に関する注記)

## 取引の時価等に関する事項

## 株式関連

(平成26年 6 月18日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引 株価指数先物取引 買 建 S&P500 EMINI	19,710,636	-	19,757,634	46,998
合 計	19,710,636	-	19,757,634	46,998

(平成26年12月18日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引 株価指数先物取引 買 建 S&P500 EMINI	11,904,726	-	11,962,333	57,607
合 計	11,904,726	-	11,962,333	57,607

(注)1.時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの特定期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同特定期間に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 通貨関連

(平成26年6月18日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引 売 建 カナダドル	1,878,880	-	1,880,600	1,720
スイスフラン	2,272,804	-	2,272,600	204
スウェーデンクローナ	2,000,570	-	2,000,700	130
ノルウェークローネ	1,021,698	-	1,021,200	498
オーストラリアドル	1,914,710	-	1,908,200	6,510
合 計	9,088,662	-	9,083,300	5,362

(注)時価の算定方法

為替予約の時価

- (1) 本書における開示対象ファンドの特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

同特定期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

同特定期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ) 同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ) 同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

- (2) 同特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、同特定期間末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

(平成26年12月18日現在)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

自 平成25年12月19日 至 平成26年 6月18日	自 平成26年 6月19日 至 平成26年12月18日
該当事項はありません。	同左

## (1口当たり情報に関する注記)

(平成26年 6月18日現在)	(平成26年12月18日現在)
1口当たり純資産額 1.2886円 (1万口当たり純資産額 12,886円)	1口当たり純資産額 1.4272円 (1万口当たり純資産額 14,272円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## 株式

(平成26年12月18日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
日本円	キリンホールディングス	100	1,481.00	148,100	
	日本たばこ産業	100	3,275.00	327,500	
	武田薬品工業	100	4,927.50	492,750	
	アステラス製薬	300	1,655.00	496,500	
	第一三共	100	1,668.50	166,850	
	JXホールディングス	300	447.40	134,220	
	ブリヂストン	100	4,193.50	419,350	
	新日鐵住金	1,000	300.00	300,000	
	住友電気工業	100	1,479.50	147,950	
	コマツ	100	2,678.00	267,800	
	パナソニック	300	1,423.50	427,050	
	ソニー	100	2,478.50	247,850	
	キヤノン	100	3,880.50	388,050	
	日産自動車	300	1,024.50	307,350	
	トヨタ自動車	300	7,250.00	2,175,000	
	本田技研工業	100	3,495.00	349,500	
	中部電力	100	1,382.00	138,200	
	関西電力	100	1,190.50	119,050	
	ヤフー	200	422.00	84,400	
	NTTドコモ	100	1,769.50	176,950	
	ソフトバンク	100	7,200.00	720,000	
	伊藤忠商事	100	1,216.50	121,650	
	三井物産	300	1,499.00	449,700	
	住友商事	100	1,177.50	117,750	

	三菱商事	100	2,046.00	204,600
	セブン&アイ・ホールディングス	100	4,307.00	430,700
	イオン	100	1,161.00	116,100
	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,600	648.90	1,038,240
	りそなホールディングス	400	603.50	241,400
	三井住友フィナンシャルグループ	100	4,152.00	415,200
	みずほフィナンシャルグループ	3,000	198.00	594,000
	野村ホールディングス	400	686.00	274,400
	第一生命保険	100	1,783.00	178,300
	東京海上ホールディングス	100	3,815.00	381,500
	T & Dホールディングス	100	1,420.00	142,000
	オリックス	100	1,491.00	149,100
	三菱UFJリース	100	537.00	53,700
	楽天	100	1,648.00	164,800
	日本円小計	11,000		13,107,560
アメリカドル	CALIFORNIA RESOURCES	40	5.94	237.60
	CHEVRON	100	106.02	10,602.00
	CONOCOPHILLIPS	100	66.94	6,694.00
	DENBURY RESOURCES	100	7.17	717.00
	EXXON MOBIL	570	89.02	50,741.40
	HALLIBURTON	100	39.44	3,944.00
	MARATHON OIL	100	26.67	2,667.00
	MARATHON PETROLEUM	50	84.73	4,236.50
	OCCIDENTAL PETROLEUM	100	77.80	7,780.00
	SCHLUMBERGER	69	82.88	5,718.72
	SPECTRA ENERGY	100	34.77	3,477.00
	WEATHERFORD INTERNATIONAL	200	11.38	2,276.00
	WILLIAMS COS	100	43.63	4,363.00
	ALCOA	100	15.05	1,505.00
	DOW CHEMICAL	100	44.55	4,455.00
	DU PONT (E.I.) DE NEMOURS	100	70.26	7,026.00
	FREEMONT-MCMORAN	100	22.13	2,213.00
	BOEING	100	125.06	12,506.00
	EMERSON ELECTRIC	100	59.74	5,974.00
	GENERAL ELECTRIC	1,200	24.66	29,592.00
	HONEYWELL INTERNATIONAL	100	97.66	9,766.00
	INGERSOLL-RAND	23	61.98	1,425.54
	PENTAIR	23	63.71	1,465.33
	UNITED TECHNOLOGIES	100	113.90	11,390.00
	ADT	50	32.06	1,603.00

CSX	100	35.77	3,577.00
UNION PACIFIC	100	114.92	11,492.00
UNITED PARCEL SERVICE-B	100	108.55	10,855.00
FORD MOTOR	400	14.45	5,780.00
GENERAL MOTORS	100	31.15	3,115.00
JOHNSON CONTROLS	100	45.68	4,568.00
NIKE-B	100	94.50	9,450.00
MCDONALD'S	100	91.65	9,165.00
STARBUCKS	100	80.43	8,043.50
COMCAST-A	300	55.33	16,600.50
DISCOVERY COMMUNICATIONS-A	50	34.22	1,711.00
DISCOVERY COMMUNICATIONS-C	50	33.52	1,676.00
NEWS-A	75	14.89	1,116.75
TIME WARNER	33	82.28	2,715.24
TWENTY-FIRST CENTURY FOX	100	37.23	3,723.00
WALT DISNEY	100	91.38	9,138.00
AMAZON.COM	50	298.88	14,944.00
HOME DEPOT	100	98.94	9,894.00
LOWE'S COMPANIES	100	65.95	6,595.00
STAPLES	200	17.29	3,458.00
TJX COMPANIES	100	65.36	6,536.00
CVS HEALTH	100	94.17	9,417.00
WAL-MART STORES	100	84.23	8,423.00
WALGREEN	100	71.99	7,199.00
ALTRIA GROUP	300	49.94	14,982.00
COCA-COLA	400	41.55	16,620.00
DR PEPPER SNAPPLE GROUP	1	70.51	70.51
KRAFT FOODS GROUP	33	59.56	1,965.48
MONDELEZ INTERNATIONAL	100	36.00	3,600.00
PEPSICO	100	93.72	9,372.00
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	100	81.85	8,185.00
AVON PRODUCTS	100	9.33	933.00
COLGATE-PALMOLIVE	100	68.66	6,866.00
PROCTER & GAMBLE	300	90.70	27,210.00
ABBOTT LABORATORIES	100	44.26	4,426.00
BOSTON SCIENTIFIC	100	13.02	1,302.00
EXPRESS SCRIPTS HOLDING	81	79.94	6,475.14
MEDTRONIC	100	72.67	7,267.00
UNITEDHEALTH GROUP	100	99.14	9,914.00
ABBVIE	100	66.57	6,657.00
AMGEN	100	163.48	16,348.00
BRISTOL-MYERS SQUIBB	100	59.19	5,919.00

CELGENE	100	112.82	11,282.00
ELI LILLY & CO	100	70.28	7,028.00
GILEAD SCIENCES	100	102.40	10,240.00
JOHNSON & JOHNSON	300	104.07	31,221.00
MERCK	319	57.63	18,383.97
PFIZER	689	31.12	21,441.68
BANK OF AMERICA	1,241	17.26	21,419.66
BB&T	100	37.52	3,752.00
CITIGROUP	330	52.45	17,308.50
FIFTH THIRD BANCORP	200	19.60	3,920.00
HUDSON CITY BANCORP	100	9.66	966.00
JPMORGAN CHASE & CO	400	59.77	23,908.00
KEYCORP	100	13.43	1,343.00
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	15	89.44	1,341.60
REGIONS FINANCIAL	300	10.22	3,066.00
US BANCORP	100	43.92	4,392.00
WELLS FARGO	619	53.79	33,296.01
AMERICAN EXPRESS	100	90.44	9,044.00
BANK OF NEW YORK MELLON	100	40.35	4,035.00
BERKSHIRE HATHAWAY-B	100	148.45	14,845.00
MORGAN STANLEY	100	36.73	3,673.00
SCHWAB (CHARLES)	100	29.19	2,919.00
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	60	54.02	3,241.20
METLIFE	100	51.79	5,179.00
PROGRESSIVE	100	26.18	2,618.00
EBAY	100	56.40	5,640.50
FACEBOOK-A	100	76.11	7,611.00
FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES	35	61.50	2,152.50
GOOGLE-A	30	506.45	15,193.50
GOOGLE-C	30	504.89	15,146.70
INTL BUSINESS MACHINES	100	151.93	15,193.00
MASTERCARD-A	100	84.73	8,473.00
MICROSOFT	900	45.74	41,166.00
ORACLE	400	41.16	16,464.00
SYMANTEC	100	25.19	2,519.00
XEROX	100	13.46	1,346.00
YAHOO!	100	50.12	5,012.00
APPLE	660	109.41	72,210.60
CISCO SYSTEMS	600	26.81	16,086.00
CORNING	100	21.29	2,129.00
EMC	300	28.57	8,571.00

	HEWLETT-PACKARD	100	38.65	3,865.00
	JUNIPER NETWORKS	100	21.42	2,142.00
	QUALCOMM	100	72.21	7,221.00
	AT & T	600	32.67	19,602.00
	FRONTIER COMMUNICATIONS	144	6.55	943.20
	SPRINT	130	3.97	516.10
	VERIZON COMMUNICATIONS	549	46.44	25,495.56
	AES	100	13.13	1,313.00
	CENTERPOINT ENERGY	100	22.49	2,249.00
	DUKE ENERGY	87	81.37	7,079.19
	EXELON	100	36.58	3,658.00
	PPL	100	34.84	3,484.00
	SOUTHERN	100	48.30	4,830.00
	APPLIED MATERIALS	100	24.45	2,445.50
	INTEL	600	36.24	21,744.00
	MICRON TECHNOLOGY	100	33.83	3,383.00
	TEXAS INSTRUMENTS	100	53.50	5,350.00
	アメリカドル小計	21,736		1,119,777.18 (133,007,133)
カナダドル	CAMECO	100	17.95	1,795.00
	CANADIAN NATURAL RESOURCES	100	34.53	3,453.00
	CENOVUS ENERGY	100	21.87	2,187.00
	ENBRIDGE	100	55.27	5,527.00
	ENCANA	200	15.21	3,042.00
	SUNCOR ENERGY	100	35.71	3,571.00
	TALISMAN ENERGY	200	8.90	1,780.00
	TRANSCANADA	100	54.33	5,433.00
	BARRICK GOLD	100	12.58	1,258.00
	ELDORADO GOLD	200	7.26	1,452.00
	FIRST QUANTUM MINERALS	100	16.61	1,661.00
	GOLDCORP	100	20.90	2,090.00
	KINROSS GOLD	200	3.13	626.00
	POTASH CORP OF SASKATCHEWAN	100	41.02	4,102.00
	TECK RESOURCES-B	24	14.41	345.84
	TURQUOISE HILL RESOURCES	100	3.37	337.00
	YAMANA GOLD	200	4.38	876.00
	CAE	100	14.85	1,485.00
	CANADIAN NATIONAL RAILWAY	100	78.16	7,816.00
	BANK OF MONTREAL	12	80.26	963.12
	BANK OF NOVA SCOTIA	100	65.03	6,503.00
	ROYAL BANK OF CANADA	100	79.63	7,963.00
	TORONTO-DOMINION BANK	100	53.10	5,310.00



	MANULIFE FINANCIAL	100	21.72	2,172.00
	BLACKBERRY	100	11.62	1,162.00
	カナダドル小計	2,836		72,909.96 (7,440,461)
ユーロ	ENI	257	14.06	3,613.42
	GALP ENERGIA-B	107	8.65	925.76
	NESTE OIL	51	19.59	999.09
	REPSOL	143	15.68	2,242.24
	SAIPEM	58	8.66	502.57
	TECHNIP	18	48.85	879.30
	TENARIS	166	12.13	2,013.58
	TOTAL	229	41.84	9,582.50
	AIR LIQUIDE	33	99.03	3,267.99
	AKZO NOBEL	51	53.92	2,749.92
	ARCELORMITTAL	164	8.79	1,441.72
	BASF	105	69.56	7,303.80
	CRH	142	18.54	2,632.68
	DSM	28	49.27	1,379.70
	HEIDELBERGCEMENT	35	55.80	1,953.00
	IMERYS	13	58.75	763.75
	K+S-REG	38	22.77	865.45
	LAFARGE	44	55.18	2,427.92
	LINDE	27	148.75	4,016.25
	STORA ENSO-R	276	7.04	1,943.04
	THYSSENKRUPP	88	20.72	1,823.88
	UMICORE	59	31.79	1,875.61
	VOESTALPINE	53	31.40	1,664.46
	ACS ACTIVIDADES DE CONSTRUCCION Y SERV	45	27.32	1,229.62
	AIRBUS GROUP	60	40.95	2,457.00
	ALSTOM	46	26.55	1,221.53
	BOSKALIS WESTMINSTER	29	43.45	1,260.19
	BOUYGUES	63	28.66	1,805.89
	CNH INDUSTRIAL	212	6.50	1,379.06
	COMPAGNIE DE SAINT-GOBAIN	82	33.57	2,753.15
	FERROVIAL	173	15.68	2,712.64
	GEA GROUP	64	35.15	2,250.11
	KONE-B	36	36.52	1,314.72
	LEGRAND	44	41.04	1,805.98
	MAN	23	91.37	2,101.51
	METSO	61	24.25	1,479.25
	OSRAM LICHT	14	32.25	451.57
	PHILIPS	176	22.51	3,962.64

PRYSMIAN	54	14.40	777.60
SAFRAN	40	48.89	1,955.80
SCHNEIDER ELECTRIC	58	58.41	3,387.78
SIEMENS-REG	85	91.55	7,781.75
THALES	43	42.47	1,826.21
VALLOUREC	25	22.24	556.00
VINCI	40	43.13	1,725.40
ZARDOYA OTIS	46	8.57	394.22
BUREAU VERITAS	104	17.82	1,853.28
EDENRED	59	22.98	1,355.82
RANDSTAD HOLDING	44	37.70	1,658.80
SOCIETE BIC	12	107.30	1,287.60
AEROPORTS DE PARIS	14	98.86	1,384.04
DEUTSCHE LUFTHANSA-REG	111	13.73	1,524.03
DEUTSCHE POST-REG	91	26.08	2,373.73
FRAPORT	17	47.50	807.50
INTL CONSOLIDATED AIRLINE- DI	469	5.59	2,624.99
TNT EXPRESS	108	5.27	569.48
BAYERISCHE MOTOREN WERKE	33	88.04	2,905.35
BAYERISCHE MOTOREN WERKE- PFD	24	65.48	1,571.52
CIE GENERAIE DES ETABLISSEMENTS MICHELIN	28	71.93	2,014.04
CONTINENTAL	19	166.14	3,156.79
DAIMLER-REG	106	67.24	7,127.44
FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES	212	9.15	1,939.80
NOKIAN RENKAAT	56	19.92	1,115.52
PIRELLI	108	10.66	1,151.28
PORSCHE AUTOMOBIL HOLDING- PFD	26	65.15	1,693.90
RENAULT	43	58.37	2,509.91
VOLKSWAGEN-PFD	14	177.95	2,491.30
ADIDAS	24	55.67	1,336.08
HERMES INTERNATIONAL	1	304.70	304.70
KERING	18	152.45	2,744.10
LUXOTTICA GROUP	55	43.08	2,369.40
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	28	125.85	3,523.80
ACCOR	59	35.90	2,118.10
EUTELSAT COMMUNICATIONS	40	26.05	1,042.00
JC DECAUX	24	27.58	662.04
PUBLICIS GROUPE	31	57.35	1,777.85
REED ELSEVIER	121	18.70	2,263.30
INDITEX	165	22.28	3,677.02

CARREFOUR	129	23.48	3,029.56
CASINO GUICHARD PERRACHON	21	72.81	1,529.01
DISTRIBUIDORA INTERNACIONAL	129	5.21	672.21
JERONIMO MARTINS	115	7.79	895.85
KONINKLIJKE AHOLD	220	13.82	3,040.40
ANHEUSER-BUSCH INBEV	91	88.56	8,058.96
DANONE	66	52.89	3,490.74
HEINEKEN	65	57.50	3,737.50
HEINEKEN HOLDINGS	50	50.03	2,501.50
PERNOD-RICARD	20	89.01	1,780.20
UNILEVER-CVA	186	31.12	5,788.32
HENKEL	13	78.48	1,020.24
HENKEL-VORZUG	31	86.75	2,689.43
L'OREAL	28	133.50	3,738.00
CELESIO	34	26.31	894.54
ESSILOR INTERNATIONAL	24	87.08	2,089.92
FRESENIUS	36	41.70	1,501.20
FRESENIUS MEDICAL CARE	43	59.09	2,540.87
BAYER-REG	94	112.24	10,550.93
GRIFOLS	59	31.95	1,885.34
MERCK	15	76.58	1,148.70
ORION-B	39	25.99	1,013.61
SANOFI	125	74.10	9,262.50
UCB	44	63.40	2,789.60
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA	676	7.78	5,259.95
BANCO ESPIRITO SANTO-REG	282	0.00	0.00
BANCO POPULAR ESPANOL	78	4.22	329.39
BANCO SANTANDER	1,408	6.83	9,620.86
BNP PARIBAS	102	47.48	4,842.96
CAIXABANK	386	4.29	1,657.09
COMMERZBANK	111	10.85	1,204.35
CREDIT AGRICOLE	188	10.34	1,944.86
ERSTE GROUP BANK	56	19.05	1,066.80
ING GROEP	439	10.44	4,583.16
INTESA SANPAOLO	1,438	2.41	3,474.20
KBC GROEP	28	44.62	1,249.36
RAIFFEISEN BANK INTERNATIONAL	28	11.79	330.12
SOCIETE GENERALE	60	33.88	2,033.10
UNICREDIT	501	5.25	2,632.75
DEUTSCHE BANK-REG	157	24.44	3,837.55
DEUTSCHE BOERSE	35	57.46	2,011.24

	EURAZEO	12	54.62	655.44
	EXOR	31	33.02	1,023.62
	AEGON	462	5.99	2,771.07
	ALLIANZ-REG	52	134.79	7,009.54
	ASSICURAZIONI GENERALI	236	16.55	3,905.80
	AXA	170	18.23	3,099.10
	CNP ASSURANCES	72	14.30	1,029.60
	HANNOVER RUECK	28	72.67	2,034.76
	MAPFRE	324	2.78	901.04
	MUENCHENER RUECKVERSICHERUNGS-REG	20	161.65	3,233.16
	SAMPO-A	90	37.63	3,386.70
	VIENNA INSURANCE GROUP	13	36.08	469.10
	AMADEUS IT HOLDING -A	48	31.06	1,490.88
	ATOS	8	57.53	460.24
	CAP GEMINI	48	56.32	2,703.36
	DASSAULT SYSTEMES	22	48.32	1,063.15
	SAP	105	54.85	5,759.46
	UNITED INTERNET-REG	58	35.80	2,076.40
	NOKIA	672	6.32	4,250.40
	DEUTSCHE TELEKOM	361	12.97	4,682.17
	ELISA	60	22.14	1,328.40
	KPN	295	2.50	739.86
	ORANGE	328	13.52	4,434.56
	TELECOM ITALIA	2,568	0.88	2,282.95
	TELEFONICA	480	11.96	5,743.20
	VIVENDI	130	19.65	2,554.50
	E.ON	204	13.87	2,829.48
	ENAGAS	85	25.76	2,190.02
	ENEL	750	3.59	2,697.00
	FORTUM	129	17.87	2,305.23
	GDF SUEZ	130	18.77	2,440.10
	IBERDROLA	809	5.50	4,454.35
	RWE	92	26.43	2,431.56
	VEOLIA ENVIRONMENT	99	14.12	1,397.88
	ASML HOLDING	39	84.08	3,279.12
	INFINEON TECHNOLOGIES	235	8.38	1,970.47
	ユーロ小計	22,883		385,202.30 (56,424,432)
イギリス ボンド	AMEC FOSTER WHEELER	161	8.30	1,337.10
	BG GROUP	300	8.54	2,564.10
	BP	2,052	3.97	8,157.72
	ROYAL DUTCH SHELL-A	438	20.94	9,173.91

ROYAL DUTCH SHELL-B	266	21.55	5,733.63
TULLOW OIL	159	3.95	628.20
ANGLO AMERICAN	120	11.57	1,388.40
ANTOFAGASTA	176	7.16	1,261.04
BHP BILLITON	190	13.27	2,522.25
GLENCORE	1,210	2.92	3,538.64
JOHNSON MATTHEY	24	32.57	781.68
RANDGOLD RESOURCES	31	41.17	1,276.27
REXAM	248	4.38	1,088.22
RIO TINTO	145	28.01	4,062.17
BAE SYSTEMS	350	4.50	1,575.35
ROLLS-ROYCE HOLDINGS	311	8.33	2,592.18
ROLLS-ROYCE HOLDINGS C	27,990	0.00	27.99
WOLSELEY	46	35.55	1,635.30
CAPITA GROUP	116	10.54	1,222.64
EXPERIAN	168	10.47	1,758.96
BURBERRY GROUP	51	15.83	807.33
COMPASS GROUP	261	10.58	2,761.38
TUI AG-NEW	88	10.90	959.20
WHITBREAD	28	44.75	1,253.00
ITV	436	2.05	895.10
PEARSON	93	11.57	1,076.01
REED ELSEVIER	211	10.56	2,228.16
SKY	248	8.90	2,207.20
WPP	210	12.80	2,688.00
KINGFISHER	419	3.18	1,335.77
MARKS & SPENCER GROUP	344	4.57	1,574.83
NEXT	18	64.00	1,152.00
J SAINSBURY	426	2.29	978.09
TESCO	700	1.68	1,177.05
WM MORRISON SUPERMARKETS	800	1.67	1,336.00
ASSOCIATED BRITISH FOODS	63	30.42	1,916.46
BRITISH AMERICAN TOBACCO	195	33.65	6,561.75
DIAGEO	263	17.91	4,710.33
IMPERIAL TOBACCO GROUP	106	27.24	2,887.44
SABMILLER	90	31.96	2,876.40
UNILEVER	130	25.62	3,330.60
RECKITT BENCKISER GROUP	73	50.70	3,701.10
SMITH & NEPHEW	219	10.53	2,306.07
ASTRAZENECA	144	44.49	6,406.56
GLAXOSMITHKLINE	500	13.47	6,735.00
SHIRE	66	45.22	2,984.52
BARCLAYS	2,041	2.28	4,655.52

	HSBC HOLDINGS	2,122	5.92	12,581.33
	LLOYDS BANKING GROUP	6,510	0.75	4,905.28
	ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP	600	3.67	2,203.80
	STANDARD CHARTERED	200	8.95	1,790.00
	ICAP	247	4.38	1,081.86
	INVESTEC	159	5.19	825.21
	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	61	21.31	1,299.91
	SCHRODERS	40	25.73	1,029.20
	ADMIRAL GROUP	102	12.66	1,291.32
	AVIVA	581	4.67	2,718.49
	FRIENDS LIFE GROUP	31	3.50	108.50
	LEGAL & GENERAL GROUP	977	2.34	2,286.18
	OLD MUTUAL	861	1.79	1,547.21
	PRUDENTIAL	250	14.57	3,642.50
	STANDARD LIFE	408	3.92	1,603.03
	BT GROUP	800	4.01	3,214.40
	VODAFONE GROUP	2,943	2.19	6,464.29
	CENTRICA	500	2.66	1,332.50
	NATIONAL GRID	430	8.86	3,811.95
	SEVERN TRENT	27	19.69	531.63
	SSE	179	16.15	2,890.85
	ARM HOLDINGS	286	9.30	2,659.80
	イギリスポンド小計	61,038		183,645.86 (33,989,175)
スイス フラン	TRANSOCEAN	55	17.65	970.75
	GIVAUDAN-REG	1	1,748.00	1,748.00
	HOLCIM	25	68.10	1,702.50
	SYNGENTA-REG	10	302.10	3,021.00
	ABB-REG	250	20.16	5,040.00
	GEBERIT-REG	4	324.90	1,299.60
	SCHINDLER HOLDING-PART CERT	9	138.50	1,246.50
	ADECCO-REG	19	65.50	1,244.50
	SGS-REG	1	1,954.00	1,954.00
	CIE FINANCIERE RICHEMONT	57	86.30	4,919.10
	SWATCH GROUP-BR	7	443.50	3,104.50
	SWATCH GROUP-REG	20	83.75	1,675.00
	ARYZTA	9	76.05	684.45
	NESTLE-REG	367	70.00	25,690.00
	ACTELION-REG	12	112.70	1,352.40
	LONZA GROUP-REG	22	108.90	2,395.80
	NOVARTIS-REG	262	88.95	23,304.90

	ROCHE HOLDING-GENUSSCHEIN	75	279.00	20,925.00
	CREDIT SUISSE GROUP-REG	134	24.30	3,256.20
	PARGESA HOLDING-BR	12	74.60	895.20
	BALOISE HOLDINGS-REG	24	123.90	2,973.60
	SWISS RE	40	81.30	3,252.00
	ZURICH INSURANCE GROUP	22	297.90	6,553.80
	SWISSCOM-REG	4	566.00	2,264.00
	スイスフラン小計	1,441		121,472.80 (14,818,466)
スウェーデン クローナ	ASSA ABLOY-B	58	397.20	23,037.60
	ATLAS COPCO-A	119	210.10	25,001.90
	SANDVIK	270	74.85	20,209.50
	SKF-B	70	157.50	11,025.00
	VOLVO-B	246	82.70	20,344.20
	SECURITAS-B	200	89.10	17,820.00
	HENNES & MAURITZ-B	95	310.60	29,507.00
	SVENSKA CELLULOSA-B	101	165.50	16,715.50
	GETINGE-B	100	167.40	16,740.00
	NORDEA BANK	268	86.05	23,061.40
	SKANDINAVISKA ENSKILDA BANEN-A	249	94.80	23,605.20
	SVENSKA HANDELSBANKEN-A	57	353.20	20,132.40
	SWEDBANK-A	103	186.90	19,250.70
	INVESTOR-B	81	270.20	21,886.20
	ERICSSON-B	249	90.70	22,584.30
TELIASONERA	448	49.28	22,077.44	
	スウェーデンクローナ小計	2,714		332,998.34 (5,154,814)
ノルウェー クローネ	SEADRILL	50	86.40	4,320.00
	STATOIL	127	125.80	15,976.60
	DNB	212	106.50	22,578.00
	TELENOR	85	146.90	12,486.50
	ノルウェークローネ小計	474		55,361.10 (883,563)
デンマーク クローネ	A P MOLLER - MAERSK-B	1	11,500.00	11,500.00
	DSV	100	184.90	18,490.00
	CARLSBERG-B	19	475.00	9,025.00
	NOVO NORDISK-B	205	259.90	53,279.50
	DANSKE BANK	140	162.20	22,708.00
	TRYG	5	681.00	3,405.00
	デンマーククローネ小計	470		118,407.50 (2,331,443)
オーストラ	CALTEX AUSTRALIA	58	32.86	1,905.88

リアドル	ORIGIN ENERGY	232	11.02	2,556.64
	SANTOS	244	7.58	1,849.52
	WOODSIDE PETROLEUM	99	35.50	3,514.50
	WORLEYPARSONS	74	8.99	665.26
	ALUMINA	706	1.65	1,164.90
	BHP BILLITON	357	27.51	9,821.07
	BORAL	233	5.02	1,169.66
	JAMES HARDIE INDUSTRIES	187	12.59	2,354.33
	NEWCREST MINING	166	10.28	1,706.48
	ORICA	65	17.79	1,156.35
	RIO TINTO	78	53.38	4,163.64
	BRAMBLES	346	10.03	3,470.38
	QANTAS AIRWAYS	378	2.31	873.18
	SYDNEY AIRPORT	368	4.73	1,740.64
	TRANSURBAN GROUP	455	8.70	3,958.50
	CROWN RESORTS	179	12.27	2,196.33
	TABCORP HOLDINGS	260	4.14	1,076.40
	TATTS GROUP	429	3.42	1,467.18
	HARVEY NORMAN HOLDINGS	226	3.27	739.02
	HARVEY NORMAN HOLDINGS-RTS	10	0.99	9.95
	METCASH	347	1.72	596.84
	WESFARMERS	124	40.52	5,024.48
	WOOLWORTHS	120	29.14	3,496.80
	COCHLEAR	22	72.00	1,584.00
	SONIC HEALTHCARE	165	17.55	2,895.75
	CSL	51	85.80	4,375.80
	AUSTRALIA AND NEW ZEALAND BANKING GROUP	246	30.47	7,495.62
	BENDIGO AND ADELAIDE BANK	105	12.15	1,275.75
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	180	81.02	14,583.60
	NATIONAL AUSTRALIA BANK	199	31.35	6,238.65
	WESTPAC BANKING	245	31.33	7,675.85
	MACQUARIE GROUP	70	55.78	3,904.60
	AMP	592	5.31	3,143.52
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	360	6.17	2,221.20	
QBE INSURANCE GROUP	208	10.22	2,125.76	
LEND LEASE	144	15.70	2,260.80	
COMPUTERSHARE	189	11.18	2,113.02	
AGL ENERGY	174	12.91	2,246.34	
オーストラリアドル小計	8,691		120,818.19 (11,658,955)	
ニュージー	FLETCHER BUILDING	200	7.97	1,594.00



ランドドル	AUCKLAND INTERNATIONAL AIRPORT	459	4.27	1,962.22
	SPARK NEW ZEALAND	956	3.11	2,977.94
	CONTACT ENERGY	167	6.11	1,020.37
	ニュージーランドドル小計	1,782		7,554.53 (691,315)
香港ドル	CATHAY PACIFIC AIRWAYS	1,000	16.84	16,840.00
	YUE YUEN INDUSTRIAL HOLDINGS	500	27.05	13,525.00
	BANK OF EAST ASIA	60	29.45	1,767.00
	BOC HONG KONG HOLDINGS	500	25.45	12,725.00
	HANG SENG BANK	200	125.30	25,060.00
	HONG KONG EXCHANGES AND CLEARING	200	168.70	33,740.00
	AIA GROUP	1,600	40.95	65,520.00
	NEW WORLD DEVELOPMENT	1,000	8.69	8,690.00
	ASM PACIFIC TECHNOLOGY	100	71.15	7,115.00
	香港ドル小計	5,160		184,982.00 (2,833,924)
シンガポールドドル	COMFORTDELGRO	1,000	2.51	2,510.00
	GENTING SINGAPORE	2,000	1.04	2,080.00
	GOLDEN AGRI-RESOURCES SINGAPORE	2,080	0.42	884.00
	TELECOMMUNICATIONS	1,000	3.91	3,910.00
	シンガポールドドル小計	6,080		9,384.00 (848,219)
イスラエルシュケル	TEVA PHARMACEUTICAL INDUSTRIES	94	216.70	20,369.80
	イスラエルシュケル小計	94		20,369.80 (615,575)
	合計	146,399		283,805,035 (270,697,475)

- (注)1.通貨種類毎の小計欄の( )内は、邦貨換算額であります。  
2.合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書きであります。  
3.通貨の表示は、邦貨については円単位、外貨についてはその通貨の表記単位で表示しております。  
4.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式時価比率	合計金額に対する比率
アメリカドル	株式 125銘柄	100.00%	49.13%
カナダドル	株式 25銘柄	100.00%	2.75%
ユーロ	株式 155銘柄	100.00%	20.84%
イギリスポンド	株式 69銘柄	100.00%	12.56%
スイスフラン	株式 24銘柄	100.00%	5.47%
スウェーデンクローナ	株式 16銘柄	100.00%	1.90%
ノルウェークローネ	株式 4銘柄	100.00%	0.33%
デンマーククローネ	株式 6銘柄	100.00%	0.86%

オーストラリアドル	株式	39銘柄	100.00%	4.31%
ニュージーランドドル	株式	4銘柄	100.00%	0.26%
香港ドル	株式	9銘柄	100.00%	1.05%
シンガポールドル	株式	4銘柄	100.00%	0.31%
イスラエルシェケル	株式	1銘柄	100.00%	0.23%

## 株式以外の有価証券(投資証券)

(平成26年12月18日現在)

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資 証券	アメリカ ドル	ANNALY CAPITAL MANAGEMENT	200	2,240.00	
		GENERAL GROWTH PROPERTIES	100	2,786.00	
		HOST HOTELS & RESORTS	206	4,915.16	
		KIMCO REALTY	100	2,533.00	
		WEYERHAEUSER	44	1,540.44	
		アメリカドル小計	650	14,014.60	(1,664,654)
	ユーロ	BGP HOLDINGS	4,076		
		CORIO	23	885.73	
		GECINA	6	619.80	
		ICADE	8	504.80	
		UNIBAIL-RODAMCO	18	3,575.70	
		ユーロ小計	4,131	5,586.03	(818,241)
	イギリス ポンド	BRITISH LAND	109	803.87	
		LAND SECURITIES GROUP	172	1,959.08	
		SEGRO	369	1,352.38	
		イギリスポンド小計	650	4,115.33	(761,665)
	オースト ラリアド ル	DEXUS PROPERTY GROUP	419	2,949.76	
		GPT GROUP	253	1,087.90	
		NOVION PROPERTY GROUP	582	1,268.76	
		SCENTRE GROUP	828	2,939.40	
		STOCKLAND	656	2,702.72	
		WESTFIELD	383	3,447.00	
		オーストラリアドル小計	3,121	14,395.54	(1,389,169)
	シンガ ポールド ル	ASCENDAS REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	1,000	2,360.00	
		CAPITAMALL TRUST	1,000	2,000.00	
		シンガポールドル小計	2,000	4,360.00	(394,100)
	合計				5,027,829

- (注)1.通貨種類毎の小計欄の( )内は、邦貨換算額であります。  
2.合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書きであります。  
3.通貨の表示は、邦貨については円単位、外貨についてはその通貨の表記単位で表示しております。  
4.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資証券 時価比率	合計金額に対する比率
アメリカドル	投資証券 5 銘柄	100.00%	33.11%
ユーロ	投資証券 5 銘柄	100.00%	16.27%
イギリスポンド	投資証券 3 銘柄	100.00%	15.15%
オーストラリアドル	投資証券 6 銘柄	100.00%	27.63%
シンガポールドル	投資証券 2 銘柄	100.00%	7.84%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。

## 2【ファンドの現況】

## 【純資産額計算書】(平成27年1月30日現在)

資産総額	313,484,287 円
負債総額	6,159,577 円
純資産総額( - )	307,324,710 円
発行済数量	255,583,706 口
1 単位当たり純資産額( / )	1.2024 円

## (参考)インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド

資産総額	325,672,856 円
負債総額	17,977,181 円
純資産総額( - )	307,695,675 円
発行済数量	213,774,320 口
1 単位当たり純資産額( / )	1.4393 円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

名義書換	該当事項はありません。
受益者名簿の閉鎖の時期	該当事項はありません。
受益者等に対する特典	該当事項はありません。
譲渡制限の内容	譲渡制限は設けておりません。
受益証券の不発行	委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。 受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。
受益権の譲渡	受益者は、保有する受益権を譲渡する場合、譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に、振り替えの申請をするものとします。 *委託会社は、委託会社が必要と認めるとき、またはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることがあります。
受益権の譲渡の対抗要件	受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。
受益権の再分割	委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法の規定に従い、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。
質権口記載または記録の受益権の取り扱い	振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる分配金の支払い、換金の申し込みの受け付け、換金代金および償還金の支払いなどについては、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令などに従って取り扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

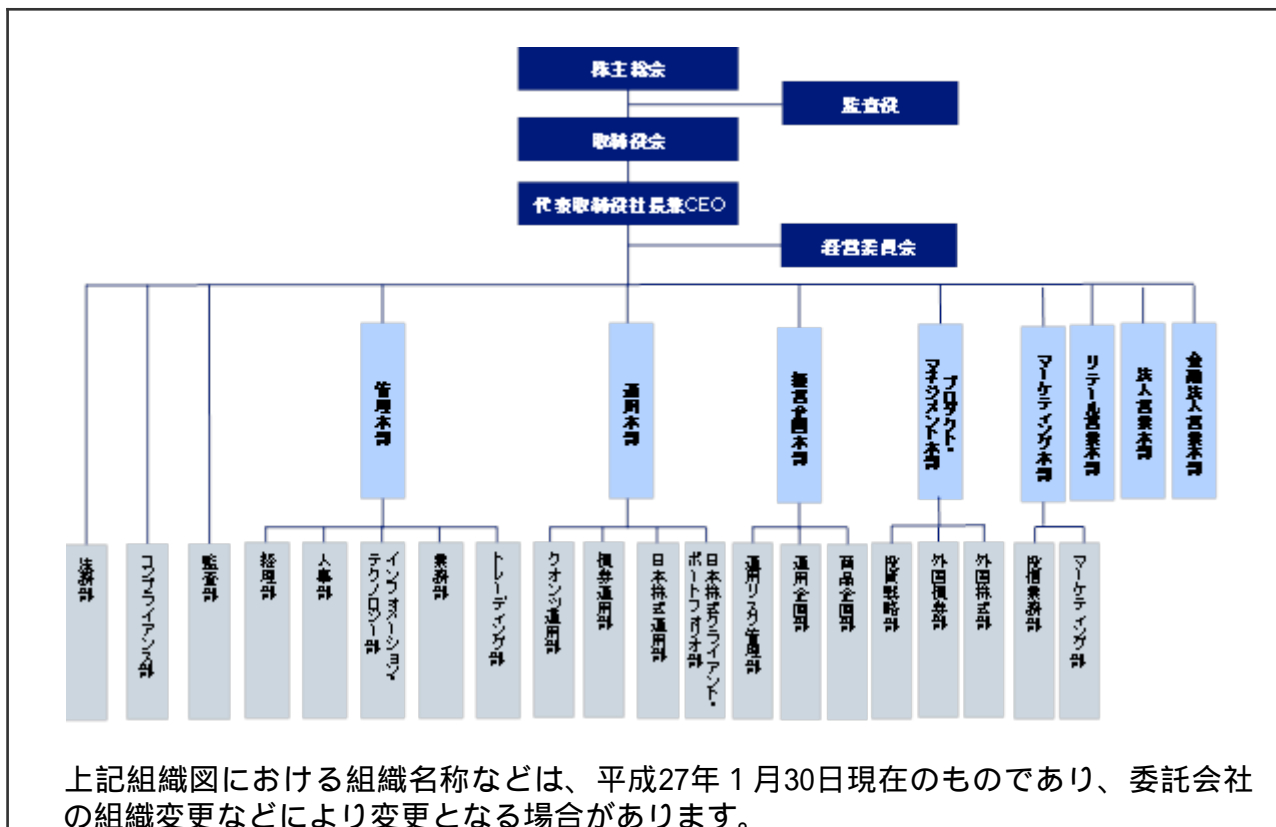
#### 1【委託会社等の概況】

##### (1) 資本金の額

平成27年1月30日 現在の状況	資本金：4,000百万円 発行可能株式総数：56,400株 発行済株式総数：40,000株
直近5カ年における主 な資本金の額の増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年6月15日付で、資本金の額は480百万円から3,000百万円に増加。</li> <li>平成23年7月6日付で、資本金の額は3,000百万円から4,000百万円に増加。</li> </ul>

##### (2) 委託会社等の機構

###### 組織図



## 会社の意思決定機構

取締役会	取締役の全員をもって構成される取締役会は、代表取締役社長兼CEOを議長とし、原則として四半期ごとに開催されます。取締役会は、経営管理全般に関する重要な事項について、取締役の過半数が出席し、出席取締役の過半数をもって決議します。
代表取締役社長兼CEO	代表取締役社長兼CEOは、委託会社の全般的な業務執行の最高責任者として、取締役会で決議された事項または委任を受けた事項の遂行に対し、権限と責任を有します。
経営委員会	取締役等から構成される経営委員会は、代表取締役社長兼CEOを議長とし、原則として月次で開催されます。経営委員会は、取締役会で決定した基本方針に基づき、取締役会から委譲を受けた権限の範囲内において、経営管理全般に関する重要な事項を協議・決定します。

## 投資運用に関する意思決定プロセス

Plan（計画）	基本的な運用方針は、投資戦略委員会（原則、月次で開催）で分析・討議された投資環境を踏まえ、銘柄検討会議およびポートフォリオ構築/戦略会議（原則、週次あるいは日次で開催）を経て決定されます。
Do（実行）	各運用部のポートフォリオ・マネジャーは、上記の委員会または運用会議の討議内容等を踏まえ、運用計画書を策定し、運用本部長の承認を受け、運用ガイドライン、運用基本方針および運用計画書に従って、ポートフォリオを構築します。
See（検証）	運用リスク管理委員会(原則、月次で開催)は、リスク管理委員会(原則、月次で開催)の分会として、定量的なリスク計測結果をもとに、運用の適切性・妥当性を検証、審議します。また、運用本部から独立したコンプライアンス部が、常時、関連法令および運用ガイドラインなどの遵守状況をチェックし、運用の信頼性・安定性の確保を図ります。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

事業の内容	「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。												
運用する投資信託財産の合計純資産総額	(平成27年1月30日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基本的性格</th> <th>ファンド数</th> <th>純資産総額(単位：百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式投資信託</td> <td>70</td> <td>635,928</td> </tr> <tr> <td>公社債投資信託</td> <td>1</td> <td>1,966</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71</td> <td>637,894</td> </tr> </tbody> </table> <p>* ファンド数および純資産総額は、親投資信託を除きます。</p>	基本的性格	ファンド数	純資産総額(単位：百万円)	株式投資信託	70	635,928	公社債投資信託	1	1,966	合計	71	637,894
基本的性格	ファンド数	純資産総額(単位：百万円)											
株式投資信託	70	635,928											
公社債投資信託	1	1,966											
合計	71	637,894											

### 3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）の財務諸表に含まれる比較情報については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令（平成24年9月21日内閣府令第61号）附則第2条第2項により、改正前の財務諸表等規則に基づいて作成しております。当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）の財務諸表、及び当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）の中間財務諸表について、あらた監査法人により監査及び中間監査を受けております。



## 1. 財務諸表

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

科目	前事業年度 (平成25年3月31日)		当事業年度 (平成26年3月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
(資産の部)				
流動資産				
預金		1,650,823		2,159,580
前払費用		56,937		60,937
未収入金		233,768		286,142
未収委託者報酬		394,497		431,090
未収運用受託報酬		602,964		702,839
未収投資助言報酬		2,241		1,661
繰延税金資産		159,222		127,246
その他の流動資産		12,368		6,434
流動資産計		3,112,823		3,775,933
固定資産				
有形固定資産	1			
建物附属設備	195,606		166,402	
器具備品	90,366	285,973	69,588	235,990
無形固定資産				
ソフトウェア	30,766		21,522	
電話加入権	3,972		3,972	
のれん	430,880		405,901	
顧客関連資産	2,309,716	2,775,334	2,175,819	2,607,216
投資その他の資産				
投資有価証券	531		6,225	
差入保証金	234,976		356,705	
繰延税金資産	37,977		35,609	
その他の投資	10,018		1,948	
貸倒引当金	8,600	274,903	-	400,488
固定資産計		3,336,211		3,243,695
資産合計		6,449,034		7,019,629

科目	前事業年度 (平成25年3月31日)		当事業年度 (平成26年3月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
(負債の部)				
流動負債				
預り金		41,790		56,291
未払金				
未払収益分配金		-	20	
未払償還金	41,181		33,774	
未払手数料	130,522		145,745	
その他の未払金	282,034	453,739	151,362	330,902
未払費用		252,754		264,777
未払法人税等		37,790		63,189
未払消費税等		35,815		39,263
賞与引当金		127,527		170,391
その他の流動負債		14,573		56,415
流動負債計		963,991		981,231
固定負債				
長期預り金		-		121,670
退職給付引当金		553,089		557,980
役員退職慰労引当金		66,358		58,149
資産除去債務		64,291		64,515
固定負債計		683,738		802,316
負債合計		1,647,730		1,783,547
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		4,000,000		4,000,000
資本剰余金				
資本準備金	1,406,953		1,406,953	
資本剰余金合計		1,406,953		1,406,953
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	605,728		171,343	
利益剰余金合計		605,728		171,343
株主資本合計		4,801,225		5,235,610
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		79		471
評価・換算差額等合計		79		471
純資産合計		4,801,304		5,236,081
負債・純資産合計		6,449,034		7,019,629

## (2)【損益計算書】

(単位：千円)

科目	前事業年度 (自 平成 24年 4月 1日 至 平成 25年 3月31日)		当事業年度 (自 平成 25年 4月 1日 至 平成 26年 3月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
営業収益				
委託者報酬		1,997,441		2,372,835
運用受託報酬		1,922,146		2,513,948
投資助言報酬		9,828		18,333
その他営業収益		1,903,423		2,137,076
営業収益計		5,832,841		7,042,193
営業費用				
支払手数料		763,405		894,463
広告宣伝費		30,442		10,823
公告費		1,155		1,155
調査費				
調査費	240,341		271,167	
委託調査費	578,841		644,490	
図書費	2,830	822,012	3,811	919,469
委託計算費		183,073		210,664
営業雑経費				
通信費	22,180		21,179	
印刷費	35,813		46,684	
協会費	8,627		7,754	
その他営業雑経費	39	66,660	-	75,618
営業費用計		1,866,749		2,112,193
一般管理費				
給料				
役員報酬	297,445		167,606	
給料・手当	1,395,741		1,369,852	
賞与	439,624	2,132,811	865,839	2,403,298
交際費		10,860		22,683
寄付金		1,000		1,100
旅費交通費		68,629		76,538
租税公課		30,817		37,680
不動産賃借料		267,269		263,544
退職給付費用		180,537		189,626
役員退職慰労引当金繰入額		19,133		20,806
賞与引当金繰入額		127,527		170,391
減価償却費		228,001		221,083
福利厚生費		196,641		203,841
諸経費		610,141		789,340
一般管理費計		3,873,370		4,399,934
営業利益		92,720		530,065

科目	前事業年度 (自 平成 24年 4月 1日 至 平成 25年 3月31日)		当事業年度 (自 平成 25年 4月 1日 至 平成 26年 3月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
営業外収益				
受取利息		122		158
保険配当金		2,926		3,269
時効成立分配金償還金		-		7,005
雑益		91		-
貸倒引当金戻入		-		480
営業外収益計		3,139		10,914
営業外費用				
為替換算差損		11,667		15,859
固定資産除却損		-		1,003
雑損		1,032		111
営業外費用計		12,700		16,974
経常利益		83,160		524,004
特別損失				
貸倒引当金繰入額		1,200		-
特別損失計		1,200		-
税引前当期純利益		81,960		524,004
法人税、住民税及び事業税		24,032		55,275
法人税等調整額		197,199		34,344
法人税等計		173,167		89,619
当期純利益		255,127		434,384

## (3)【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備 金	利益剰余金		
		資本準備金	その 他資 本剰 余金	資本剰余金 合計		その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	4,000,000	1,406,953	-	1,406,953	-	860,855	860,855	4,546,097
当期変動額								
当期純利益						255,127	255,127	255,127
株主資本以外の 項目の当期の 変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	255,127	255,127	255,127
当期末残高	4,000,000	1,406,953	-	1,406,953	-	605,728	605,728	4,801,225

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	18	18	4,546,116
当期変動額			
当期純利益			255,127
株主資本以外の 項目の当期の変 動額 (純額)	60	60	60
当期変動額合計	60	60	255,187
当期末残高	79	79	4,801,304

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備 金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	4,000,000	1,406,953	-	1,406,953	-	605,728	605,728	4,801,225
当期変動額								
当期純利益						434,384	434,384	434,384
株主資本以外 の項目の当期 の変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	434,384	434,384	434,384
当期末残高	4,000,000	1,406,953	-	1,406,953	-	171,343	171,343	5,235,610

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	79	79	4,801,304
当期変動額			
当期純利益			434,384
株主資本以外 の項目の当期の変 動額 (純額)	392	392	392
当期変動額合計	392	392	434,777
当期末残高	471	471	5,236,081

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）

2．固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、資産除去債務に係る建物附属設備については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備 5～18年

器具備品 4～20年

（2）無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は20年であります。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3．引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末に計上すべき貸倒引当金はありません。

（2）賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

（3）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、簡便法により、当事業年度末における自己都合退職による要支給額を計上しております。

（4）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、当事業年度末における要支給額を計上しております。

4．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、当事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替換算差損として処理しております。

5．その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

## 「注記事項」

## (貸借対照表関係)

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額	112,884千円	149,669千円

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,000	-	-	40,000

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,000	-	-	40,000

## (リース取引関係)

## 1. オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
1年内	207,226千円	207,226千円
1年超	500,798千円	293,571千円
合計	708,025千円	500,798千円

なお、オペレーティング・リース取引の内容は、不動産賃借によるものであります。



## （金融商品関係）

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## （1）金融商品に対する取組方針

当社は、主に第2種金融商品取引、投資助言・代理業及び投資運用業を行っており、資金計画に照らし、必要な資金（主にグループ本社よりの資本増資）を調達しております。デリバティブ等の投機的な取引は行わない方針であります。

## （2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

国内の未収入金に関しては、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されており、国外拠点に対する外貨建ての債権債務に関しては、各月末から次月精算までの短期為替変動によるリスクに晒されております。また、投資有価証券は、主に投資信託であり、当社の投資信託設定のための小額資金投資で売買目的ではありません。未収入金等については、定期的に残高、期日を適切に把握する体制を整えております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

前事業年度（平成25年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1)預金	1,650,823	1,650,823	-
(2)未収入金	233,768	233,768	-
(3)未収委託者報酬	394,497	394,497	-
(4)未収運用受託報酬	602,964	602,964	-
(5)未収投資助言報酬	2,241	2,241	-
(6)投資有価証券 その他有価証券	531	531	-
資産計	2,884,826	2,884,826	-
(1)未払償還金	(41,181)	(41,181)	-
(2)未払手数料	(130,522)	(130,522)	-
(3)その他の未払金	(282,034)	(282,034)	-
負債計	(453,739)	(453,739)	-

(\*) 負債に計上されているものについては、( )で示しています。

当事業年度（平成26年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1)預金	2,159,580	2,159,580	-
(2)未収入金	286,142	286,142	-
(3)未収委託者報酬	431,090	431,090	-
(4)未収運用受託報酬	702,839	702,839	-
(5)未収投資助言報酬	1,661	1,661	-
(6)投資有価証券 其他有価証券	6,225	6,225	-
(7)差入保証金	356,705	355,357	1,347
資産計	3,944,246	3,942,898	1,347
(1)預り金	(56,291)	(56,291)	-
(2)未払収益分配金	(20)	(20)	-
(3)未払償還金	(33,774)	(33,774)	-
(4)未払手数料	(145,745)	(145,745)	-
(5)その他の未払金	(151,362)	(151,362)	-
(6)長期預り金	(121,670)	(121,198)	471
負債計	(508,862)	(508,390)	471

(\*) 負債に計上されているものについては、（ ）で示しています。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

(1)預金 (2)未収入金 (3)未収委託者報酬 (4)未収運用受託報酬 (5)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(6)投資有価証券

基準価額を基に算出しております。

(7)差入保証金

返還されるまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(1)預り金(2)未払収益分配金(3)未払償還金(4)未払手数料(5)その他の未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

## (6)長期預り金

返還するまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

## (注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成25年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 10年以内	10年超
(1)預金	1,650,823	-	-
(2)未収入金	233,768	-	-
(3)未収委託者報酬	394,497	-	-
(4)未収運用受託報酬	602,964	-	-
(5)未収投資助言報酬	2,241	-	-
合計	2,884,295	-	-

当事業年度（平成26年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 10年以内	10年超
(1)預金	2,159,580	-	-
(2)未収入金	286,142	-	-
(3)未収委託者報酬	431,090	-	-
(4)未収運用受託報酬	702,839	-	-
(5)未収投資助言報酬	1,661	-	-
(6)差入保証金	-	356,705	-
合計	3,581,315	356,705	-

## （有価証券関係）

## その他有価証券

前事業年度（平成25年3月31日）

	取得原価 (千円)	貸借対照表日における 貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	452	531	79
小計	452	531	79
貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	452	531	79

当事業年度（平成26年3月31日）

	取得原価 (千円)	貸借対照表日における 貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	5,605	6,225	620
小計	5,605	6,225	620
貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	5,605	6,225	620

## (退職給付関係)

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。

## 2. 退職給付債務に関する事項

	前事業年度 (平成25年3月31日)
退職給付債務（千円）	553,089
退職給付引当金（千円）	553,089

## 3. 退職給付費用に関する事項

	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
勤務費用（千円）	180,537
退職給付費用（千円）	180,537

## 4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

期末自己都合退職による要支給額を退職給付債務としております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

## 2. 簡便法を適用した確定給付制度

## (1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	当事業年度 (平成26年3月31日)
退職給付引当金の期首残高	553,089
退職給付費用	189,626
退職給付の支払額	184,734
退職給付引当金の期末残高	557,980

## (2) 退職給付に関連する損益

	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	189,626

## （税効果会計関係）

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
繰延税金資産		
(1)流動資産		
賞与引当金	48,473	60,727
未払費用	14,558	40,352
未払退職金	13,324	7,235
株式報酬費用	6,122	10,086
その他	1,437	18,709
繰越欠損金	75,305	132,850
計	159,222	269,961
(2)固定資産		
退職給付引当金	197,121	198,864
役員退職給付引当金	23,650	20,724
資産調整勘定	75,954	35,609
資産除去債務	22,913	22,993
その他	4,975	-
繰越欠損金	1,065,791	674,107
繰延税金負債（固定）との相殺	16,663	6,897
計	1,373,743	945,401
繰延税金資産小計	1,532,965	1,215,363
評価性引当額	1,335,765	1,052,507
繰延税金資産合計	197,199	162,855
繰延税金負債		
(1)固定負債		
資産除去債務	16,663	6,897
繰延税金資産（固定）との相殺	16,663	6,897
繰延税金負債合計	-	-
繰延税金資産純額	197,199	162,855

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

## 前事業年度（平成25年3月31日）

法定実効税率	38.0%
（調整）	
交際費等永久に損金に算入されない項目	81.6%
住民税均等割等	4.6%
のれん償却額	11.5%
評価性引当額の増減額	336.2%
その他	10.9%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	211.2%

## 当事業年度（平成26年3月31日）

法定実効税率 （調整）	38.0%
交際費等永久に損金に算入されない項目	14.9%
住民税均等割等	0.7%
評価性引当額の増減額	54.1%
税率変更による影響額	2.0%
その他	15.3%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	17.0%

## 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

所得税法等の一部を改正する法律（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異について、前事業年度の38.0%から35.6%に変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が10,829千円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が10,829千円増加しております。

## （資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

## （1）当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借取引に伴う原状回復義務等であります。

## （2）当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から5年と見積り、割引率は0.349%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

## （3）当該資産除去債務の総額の増減

	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
期首残高	64,067千円	64,291千円
時の経過による調整額	223千円	224千円
期末残高	64,291千円	64,515千円

## （セグメント情報等）

## [セグメント情報]

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

当社は、投信投資顧問業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

当社は、投信投資顧問業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [関連情報]

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

## 製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## 地域ごとの情報

## （1）営業収益

（単位：千円）

日本	米国	欧州	その他	合計
1,539,735	1,896,165	375,834	23,663	3,835,399

（注1）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（注2）営業収益のうち委託者報酬に関しては、当社が運用している投資信託は大半が公募投信であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

## （2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 主要な顧客ごとの情報

## （1）その他営業収益

（単位：千円）

顧客の氏名又は名称	営業収益
Invesco Advisers, Inc.	1,600,703

## （2）委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

## （3）運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。



## (4) 投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

## 製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	欧州	その他	合計
1,869,541	2,113,551	650,340	35,924	4,669,358

(注1) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) 営業収益のうち委託者報酬に関しては、当社が運用している投資信託は大半が公募投信であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 主要な顧客ごとの情報

## (1) その他営業収益

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	営業収益	関連するセグメント名
Invesco Advisers, Inc.	1,839,369	投信投資顧問業

## (2) 委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

## (3) 運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

## (4) 投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

## 1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者との取引

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（1）財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の子会社	Invesco Asset Management Ltd. (注)	30 Finsbury Square, London, UK	70,416千英ポンド	投資顧問業	なし	投資顧問契約の再委任等	再委任投資顧問料の支払	278,879	その他の未払金	72,876
親会社の子会社	Invesco Advisers, Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	6,229米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の再委任等	その他営業収益の受取	1,600,703	未収入金	40,894

(注1) 取引金額、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2) Invesco Asset Management Ltd.は、平成24年7月31日にInvesco UK Ltd.が当社の株式を譲渡したことにより、親会社の子会社に属性を変更しております。ただし、取引金額は通年のものを記載しております。

(注3) その他営業収益の算定方法については、第三者による検討結果に基づいたグループ内のポリシーにより決定しております。

当事業年度（自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月 31日）

（1）財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の子会社	Invesco Advisers, Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	430,778 米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の再委任等	その他営業収益の受取	1,839,369	未収入金	161,287
									その他の未払金	6,101
親会社の子会社	Invesco Global Real Estate Asia Pacific Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	750,000 米ドル	不動産投資業	なし	事務所の転賃	敷金の預り	-	長期預り金	121,670

（注1）取引金額、期末残高には消費税等が含まれておりません。

（注2）その他営業収益の算定方法については、第三者による検討結果に基づいたグループ内のポリシーにより決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

### 親会社情報

Invesco Far East Ltd.（非上場）

Invesco Holding Company Ltd.（非上場、持株会社）

Invesco Ltd.（ニューヨーク証券取引所に上場）

（1株当たり情報）

前事業年度 (自 平成 24年 4月 1日 至 平成 25年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成 25年 4月 1日 至 平成 26年 3月 31日)
1株当たり純資産額 120,032円60銭	1株当たり純資産額 130,902円04銭
1株当たり当期純利益金額 6,378円18銭	1株当たり当期純利益金額 10,859円62銭

（注）1．潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

### 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前事業年度 (自 平成 24年 4月 1日 至 平成 25年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成 25年 4月 1日 至 平成 26年 3月 31日)
当期純利益金額(千円)	255,127	434,384
普通株式に係る当期純利益(千円)	255,127	434,384
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
期中平均株式数(株)	40,000	40,000

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2. 中間財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間会計期間 (平成26年9月30日)	
	内訳	金額
(資産の部)		
流動資産		
預金		3,026,263
前払費用		91,145
未収入金		345,029
未収委託者報酬		459,835
未収運用受託報酬		584,546
未収投資助言報酬		2,169
繰延税金資産		264,458
その他の流動資産		5,106
流動資産計		4,778,554
固定資産		
有形固定資産	1	
建物附属設備	152,146	
器具備品	62,511	214,657
無形固定資産		
ソフトウェア	16,968	
電話加入権	3,972	
のれん	393,412	
顧客関連資産	2,108,871	2,523,224
投資その他の資産		
投資有価証券	8,027	
差入保証金	356,392	
繰延税金資産	17,804	
その他の投資	1,489	383,713
固定資産計		3,121,595
資産合計		7,900,150

科目	当中間会計期間 (平成26年9月30日)	
	内訳	金額
(負債の部)		
流動負債		
預り金		40,034
未払金		
未払収益分配金	20	
未払償還金	33,774	
未払手数料	153,656	
その他の未払金	157,588	
未払費用		213,234
未払法人税等		89,437
未払消費税等	2	61,532
賞与引当金		709,246
その他の流動負債		51,524
流動負債計		1,510,049
固定負債		
長期預り金		121,670
退職給付引当金		500,867
役員退職慰労引当金		44,540
資産除去債務		64,628
固定負債計		731,706
負債合計		2,241,755
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		4,000,000
資本剰余金		
資本準備金	1,406,953	
資本剰余金合計		1,406,953
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	250,366	
利益剰余金合計		250,366
株主資本合計		5,657,319
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		1,075
評価・換算差額等合計		1,075
純資産合計		5,658,394
負債・純資産合計		7,900,150

## (2)中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間会計期間 (自 平成 26年 4月 1日 至 平成 26年 9月 30日)	
	内訳	金額
営業収益		
委託者報酬		1,772,437
運用受託報酬		1,108,129
投資助言報酬		28,980
その他営業収益		1,317,490
営業収益計		4,227,037
営業費用		
支払手数料		740,676
広告宣伝費		29,282
公告費		3,435
調査費		
調査費	128,431	
委託調査費	386,208	
図書費	2,274	516,915
委託計算費		116,408
営業雑経費		
通信費	10,924	
印刷費	29,684	
協会費	5,804	46,414
営業費用計		1,453,131
一般管理費		
給料		
役員報酬	61,099	
給料・手当	696,141	
賞与	139,923	897,165
交際費		13,888
寄付金		500
旅費交通費		48,198
租税公課		21,215
不動産賃借料		135,782
退職給付費用		68,906
役員退職慰労引当金繰入		7,434
賞与引当金繰入		538,855
固定資産減価償却費		106,387
福利厚生費		119,327
諸経費		436,247
一般管理費計		2,393,908
営業利益		379,996

科目	当中間会計期間 (自 平成 26年 4月 1日 至 平成 26年 9月 30日)	
	内訳	金額
営業外収益		
受取利息		154
保険配当金		3,575
雑益		109
営業外収益計		3,839
営業外費用		
為替換算差損		2,896
営業外費用計		2,896
経常利益		380,940
税引前中間純利益		380,940
法人税、住民税及び事業税		78,638
法人税等調整額		119,407
法人税等計		40,769
中間純利益		421,709

## (3)中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	4,000,000	1,406,953	-	1,406,953	-	171,343	171,343	5,235,610
当中間期変動額								
中間純利益						421,709	421,709	421,709
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)								
当中間期変動額合計	-	-	-	-	-	421,709	421,709	421,709
当中間期末残高	4,000,000	1,406,953	-	1,406,953	-	250,366	250,366	5,657,319

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	471	471	5,236,081
当中間期変動額			
中間純利益			421,709
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	603	603	603
当中間期変動額合計	603	603	422,313
当中間期末残高	1,075	1,075	5,658,394



（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

    その他有価証券

    時価のあるもの

        中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）

2．固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

    定率法を採用しております。ただし、資産除去債務に係る建物附属設備については、定額法によっております。

    なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

    建物附属設備 5～18年

    器具備品 4～20年

（2）無形固定資産

    定額法を採用しております。

    なお、主な償却年数は20年であります。

    ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3．引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

    一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当中間会計期間末に計上すべき貸倒引当金はありません。

（2）賞与引当金

    従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき、当中間会計期間に見合う分を計上しております。

（3）退職給付引当金

    従業員の退職給付に備えるため、簡便法により、当中間会計期間末における自己都合退職による要支給額を計上しております。

（4）役員退職慰労引当金

    役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、当中間会計期間末における要支給額を計上しております。

4．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

    外貨建金銭債権債務は、当中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替換算差損益として処理しております。

5．その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

    消費税等の会計処理

        消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

## 「注記事項」

## (中間貸借対照表関係)

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	171,952千円

## 2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、流動負債の「未払消費税等」として表示しております。

## (中間損益計算書関係)

## 1 減価償却実施額は、次のとおりであります。

	当中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
有形固定資産	22,395千円
無形固定資産	83,991千円

## (中間株主資本等変動計算書関係)

## 1. 当中間会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## (1) 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末
普通株式(株)	40,000	-	-	40,000

## (リース取引関係)

## 1. オペレーティング・リース取引

## (借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
1年以内	207,226千円
1年超	189,957千円
合計	397,184千円

なお、オペレーティング・リース取引の内容は、不動産賃借によるものであります。

## （金融商品関係）

## 1. 金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

当中間会計期間（平成26年9月30日）

（単位：千円）

	中間貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1)預金	3,026,263	3,026,263	-
(2)未収入金	345,029	345,029	-
(3)未収委託者報酬	459,835	459,835	-
(4)未収運用受託報酬	584,546	584,546	-
(5)未収投資助言報酬	2,169	2,169	-
(6)投資有価証券 その他有価証券	8,027	8,027	-
(7)差入保証金	356,392	355,219	1,172
資産計	4,782,264	4,781,091	1,172
(1)預り金	(40,034)	(40,034)	-
(2)未払収益分配金	(20)	(20)	-
(3)未払償還金	(33,774)	(33,774)	-
(4)未払手数料	(153,656)	(153,656)	-
(5)その他の未払金	(157,588)	(157,588)	-
(6)長期預り金	(121,670)	(121,259)	410
負債計	(506,742)	(506,333)	410

(\*) 負債に計上されているものについては、( )で示しています。

(注)金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

(1)預金 (2)未収入金 (3)未収委託者報酬 (4)未収運用受託報酬 (5)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(6)投資有価証券

基準価額を基に算出しております。

(7)差入保証金

返還されるまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(1)預り金(2)未払収益分配金(3)未払償還金(4)未払手数料(5)その他の未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(6)長期預り金

返還するまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

(有価証券関係)

投資有価証券

当中間会計期間（平成26年9月30日）

区分	取得原価 (千円)	中間貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	6,952	8,027	1,075
小計	6,952	8,027	1,075
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	6,952	8,027	1,075

(資産除去債務関係)

資産除去債務の総額の増減

	当中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
当期首残高	64,515千円
時の経過による調整額	112千円
当中間期末残高	64,628千円

## （セグメント情報等）

## [セグメント情報]

当社は、投信投資顧問業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [関連情報]

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

## 製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## 地域ごとの情報

## （1）営業収益

（単位：千円）

米国	日本	欧州	その他	合計
1,304,450	717,664	420,124	12,360	2,454,599

（注1）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（注2）営業収益のうち委託者報酬に関しては、当社が運用している投資信託は大半が公募投信であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

## （2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 主要な顧客ごとの情報

## （1）その他営業収益

（単位：千円）

顧客の氏名又は名称	営業収益
Invesco Advisers, Inc.	1,133,439

## （2）委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

## （3）運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

## （4）投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
(1) 1株当たり純資産額	141,459円87銭

	当中間会計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
(2) 1株当たり中間純利益金額(千円)	10,542円74銭
(算定上の基礎)	
中間純利益金額(千円)	421,709
普通株式に係る中間純利益(千円)	421,709
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	40,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4【利害関係人との取引制限】

<p>金融商品取引法で禁止されている、利害関係人との取引行為</p>	<p>a . 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。</p> <p>b . 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。</p> <p>c . 通常の見積りの条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じです。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じです。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。</p> <p>d . 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額または市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。</p> <p>e . 上記c . およびd . に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。</p>
------------------------------------	--

## 5【その他】

<p>定款の変更等</p>	<p>定款の変更は、株主総会の決議が必要です。</p>
<p>訴訟事件その他重要事項</p>	<p>訴訟、その他会社の経営に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。</p>

## 第2【その他の関係法人の概況】

## 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

## (1)受託会社

名称	資本金の額 (平成26年9月30日現在)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

## (2)販売会社

名称	資本金の額 (平成26年9月30日現在)	事業の内容
株式会社広島銀行	54,573百万円	銀行法に基づき銀行業務を営んでいます。
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,711,958百万円	
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。



## 2【関係業務の概要】

受託会社	<p>ファンドの受託会社として、投資信託財産の保管・管理・計算などを行います。</p> <p>受託会社は、ファンドにかかる信託事務の一部につき、下記再信託受託会社に委託することができます。</p>								
再信託受託会社の概要	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>日本マスタートラスト信託銀行株式会社</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td>10,000百万円(平成26年9月30日現在)</td> </tr> <tr> <td>事業の内容</td> <td>銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。</td> </tr> <tr> <td>再信託の目的</td> <td>原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。</td> </tr> </table>	名称	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	資本金	10,000百万円(平成26年9月30日現在)	事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。	再信託の目的	原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。
名称	日本マスタートラスト信託銀行株式会社								
資本金	10,000百万円(平成26年9月30日現在)								
事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。								
再信託の目的	原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。								
販売会社	<p>ファンドの販売会社として、受益権の募集・販売の取り扱いを行い、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。</p>								

## 3【資本関係】

受託会社	該当事項はありません。
販売会社	該当事項はありません。

## 第3【その他】

目論見書の名称等	目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。
目論見書の表紙等の記載事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付目論見書の表紙等に、以下の趣旨の事項を記載します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ファンドに関する「投資信託説明書（請求目論見書）」（以下「請求目論見書」といいます。）を含む詳細な情報は、委託会社のホームページに掲載しています。また、信託約款の全文は請求目論見書に記載しています。</li> <li>- ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づき、事前に受益者の意向を確認します。</li> <li>- ファンドの投資信託財産は、信託法（平成18年法律第108号）に基づき、受託会社において分別管理されています。</li> </ul> </li> <li>・ 請求目論見書の表紙等に、課税上は株式投資信託として取り扱われる旨を記載することがあります。</li> <li>・ 請求目論見書の表紙等に、以下の趣旨の事項を記載することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 先進国株式インデックス・ファンドは、株式などの値動きのある有価証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）などに投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。</li> </ul> </li> <li>・ 目論見書の表紙等に使用開始日を記載することがあります。</li> <li>・ 目論見書の表紙等または本文にロゴ・マーク、図案およびキャッチコピーを採用すること、またファンドの商品分類、お申し込みに関する事項などを記載することがあります。</li> <li>・ 目論見書の表紙等に、投信評価機関、投信評価会社などによるレーティング、評価情報および評価分類などを表示する場合があります。</li> </ul>
請求目論見書の掲載事項	請求目論見書に、ファンドの信託約款を掲載します。
目論見書の使用方法等	目論見書は、電子媒体として使用される他、インターネットなどに掲載されることがあります。

# 独立監査人の監査報告書

平成26年5月30日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
（旧会社名 インベスコ投信投資顧問株式会社）  
取締役会御中

## あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているインベスコ・アセット・マネジメント株式会社（旧会社名 インベスコ投信投資顧問株式会社）の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第24期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（旧会社名 インベスコ投信投資顧問株式会社）の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### その他の事項

会社の平成25年3月31日をもって終了した前事業年度の財務諸表は、前任監査人によって監査されている。前任監査人は、当該財務諸表に対して平成25年5月31日付けで無限定適正意見を表明している。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

# 独立監査人の監査報告書

平成27年2月12日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
取締役会御中

## あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている先進国株式インデックス・ファンドの平成26年6月19日から平成26年12月18日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、先進国株式インデックス・ファンドの平成26年12月18日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

# 独立監査人の中間監査報告書

平成26年12月10日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

## あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているインベスコ・アセット・マネジメント株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第25期事業年度の中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。